

令和 8 年第 5 回上越市議会 9 月会議

議 会 資 料

●令和 7 年度決算関係

◎県内 20 市決算状況	1
◎市民 1 人当たり決算額の状況	3
◎令和 7 年度一般会計予備費の充用実績	4

●令和 8 年度一般会計予備費の充用状況

7

●第 7 次行政改革推進計画の令和 7 年度の実施について

9

●令和 7 年度地域独自の予算事業

◎地域自治区別事業一覧表	1 6
◎常任委員会別事業一覧表	3 2

●令和 7 年度 エネルギー、食料品等の価格高騰に伴う生活者・事業者等への 支援の実施について

4 6

●昨冬の大雪を踏まえ今シーズンに備えた対策について

4 9

県 内 2 0 市 決 算 状 況

(単位：千円)

項 目 市 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳 入 歳 出 差 引	実 質 収 支	実 質 単 年 度 収 支
上 越 市	112,835,948	108,638,481	4,197,467	2,974,155	528,155
新 潟 市	473,637,066	463,546,560	10,090,506	5,704,386	1,625,796
長 岡 市	153,032,863	147,011,816	6,021,047	5,041,747	48,899
三 条 市	57,546,546	54,390,212	3,156,334	2,985,614	1,540,696
柏 崎 市	54,023,451	50,975,067	3,048,384	2,624,854	▲ 87,114
新 発 田 市	55,604,873	54,090,993	1,513,880	1,214,644	204,284
小 千 谷 市	26,677,597	26,168,793	508,804	440,724	225,305
加 茂 市	14,560,959	13,793,236	767,723	648,207	119,096
十 日 町 市	40,617,714	38,705,286	1,912,428	1,659,807	166,837
見 附 市	21,132,753	20,092,901	1,039,852	561,125	97,002
村 上 市	46,074,652	42,690,014	3,384,638	2,895,799	57,784
燕 市	54,096,113	51,869,838	2,226,275	1,978,778	770,688
糸 魚 川 市	30,586,287	28,586,164	2,000,123	1,632,492	▲ 496,909
妙 高 市	24,028,314	22,924,410	1,103,904	975,825	143,584
五 泉 市	24,650,647	23,793,452	857,195	847,934	304,667
阿 賀 野 市	25,608,979	24,126,414	1,482,565	1,172,918	267,166
佐 渡 市	51,632,131	49,637,753	1,994,378	1,290,918	▲ 71,847
魚 沼 市	37,409,087	35,849,103	1,559,984	1,160,920	▲ 873,750
南 魚 沼 市	54,917,658	53,304,910	1,612,748	994,658	▲ 530,025
胎 内 市	23,408,400	21,909,510	1,498,890	1,047,053	262,302
20 市 平 均	69,104,102	66,605,246	2,498,856	1,892,628	215,131

類似団体 (施行時特例市) 23市平均	113,785,869	109,555,789	4,230,080	3,172,683	2,246
---------------------------	-------------	-------------	-----------	-----------	-------

(注) 類似団体……令和7年度は、施行時特例市23市

つくば市、伊勢崎市、太田市、熊谷市、所沢市、春日部市、草加市、
平塚市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、
沼津市、富士市、春日井市、四日市市、岸和田市、茨木市、加古川市、
宝塚市、佐賀市における普通会計

(注) 決算額等は、地方財政状況調査による普通会計の数値であり、一般会計の数値とは一致しない。

(注) 他市の状況は、速報値であるため今後変更の可能性はある。

(注) 表の指数は、表示単位未満で調整しているため、総数とその内訳が一致しない場合がある。

項目 市 名	実質収支率 比 (%)	経常収支率 比 (%)	順位	経常一般 財源比 (%)	順位	財政指 数	順位
上 越 市	4.9	93.1	8	104.3	1	0.57	5
新 潟 市	2.3	94.1	11	103.3	4	0.63	2
長 岡 市	6.8	95.7	17	103.4	2	0.59	4
三 条 市	10.8	96.6	19	103.0	6	0.54	6
柏 崎 市	10.8	95.7	17	103.1	5	0.65	1
新 発 田 市	4.4	86.8	2	102.9	7	0.49	9
小 千 谷 市	4.1	94.8	14	100.0	20	0.52	7
加 茂 市	8.5	93.9	10	102.7	11	0.40	16
十 日 町 市	8.2	94.4	12	101.6	18	0.33	18
見 附 市	5.2	92.6	6	102.8	8	0.52	7
村 上 市	12.9	92.9	7	102.2	15	0.34	17
燕 市	9.0	93.7	9	102.8	8	0.60	3
糸 魚 川 市	9.8	95.3	15	102.0	16	0.48	10
妙 高 市	7.7	86.7	1	103.4	2	0.42	15
五 泉 市	5.9	92.1	5	102.7	11	0.43	11
阿 賀 野 市	8.7	87.9	3	102.8	8	0.43	11
佐 渡 市	5.0	95.6	16	101.1	19	0.24	20
魚 沼 市	7.2	91.2	4	102.0	16	0.29	19
南 魚 沼 市	5.1	94.5	13	102.5	14	0.43	11
胎 内 市	10.3	97.9	20	102.7	11	0.43	11
20 市 平 均	7.4	93.3		102.6		0.47	
類似団体 (施行時特例市) 23市平均	5.8	94.3		104.6		0.87	

(注) 順位は、それぞれの比率等の良好な順序

市民1人当たり決算額の状況

		令和5年度				令和6年度				令和7年度			
		上越市		県内 20市平均	類似団体 23市平均 施行時特例市	上越市		県内 20市平均	類似団体 23市平均 施行時特例市	上越市		県内 20市平均	類似団体 23市平均 施行時特例市
		R6.1.1現在人口 182,911人		人 103,278	人 241,226	R7.1.1現在人口 180,440人		人 101,989	人 240,635	R8.1.1現在人口 177,922人		人 100,659	人 239,862
		市民1人 当たり	増減率	市民1人 当たり	市民1人 当たり	市民1人 当たり	増減率	市民1人 当たり	市民1人 当たり	市民1人 当たり	増減率	市民1人 当たり	市民1人 当たり
歳入総額		円	%	円	円	円	%	円	円	円	%	円	円
歳入総額		590,722	1.6	620,581	433,673	617,406	4.5	653,430	457,288	634,188	2.7	686,518	474,380
歳出総額		562,839	2.5	592,867	416,677	592,222	5.2	628,568	441,022	610,596	3.1	661,693	456,745
実質収支		22,796	▲ 26.0	19,689	13,179	17,828	▲ 21.8	18,660	13,291	16,716	▲ 6.2	18,802	13,227
歳入	市税	174,691	3.7	157,503	171,375	172,813	▲ 1.1	156,589	171,651	183,316	6.1	168,246	182,322
	地方交付税	131,993	1.5	142,983	28,748	151,253	14.6	153,982	32,207	161,228	6.6	161,660	34,079
	国庫支出金	84,700	▲ 1.0	100,719	86,081	89,549	5.7	102,814	88,638	98,026	9.5	109,021	93,457
	県支出金	38,435	▲ 10.8	35,961	29,452	41,132	7.0	40,075	31,160	42,260	2.7	41,330	34,523
	地方債	32,007	0.1	50,243	27,208	41,103	28.4	50,319	29,276	33,997	▲ 17.3	55,366	30,682
	その他の歳入	128,896	5.2	133,172	90,809	121,556	▲ 5.7	149,651	104,356	115,361	▲ 5.1	150,895	99,317
歳出	人件費	86,452	▲ 1.3	99,841	64,063	93,932	8.7	109,437	70,121	99,502	5.9	113,750	73,059
	扶助費	105,664	9.3	110,727	116,015	114,406	8.3	118,573	124,936	119,844	4.8	121,401	129,425
	公債費	72,637	▲ 1.9	66,631	30,234	63,091	▲ 13.1	65,429	29,788	63,052	▲ 0.1	66,884	29,963
	投資的経費	51,835	11.0	74,021	49,630	59,100	14.0	80,268	51,235	59,653	0.9	90,700	56,611
	その他の歳出	246,251	0.8	241,647	156,735	261,693	6.3	254,862	164,942	268,545	2.6	268,958	167,687
その他	経常一般財源	321,918	2.4	319,161	222,460	340,109	5.7	334,586	233,254	357,595	5.1	351,536	243,592
	地方債現在高	576,952	▲ 5.3	687,639	284,975	564,492	▲ 2.2	683,358	286,257	545,453	▲ 3.4	683,947	289,330
	財政調整基金・ 減債基金現在高	32,640	▲ 21.0	48,727	37,651	32,945	0.9	51,062	36,313	37,415	13.6	54,207	37,494
人口千人当たり職員数		人 8.32	0.0	人 10.52	人 6.58	人 8.50	2.2	人 10.69	人 6.59	人 8.59	1.1	人 10.84	人 6.73

令和7年度 一般会計予備費の充用実績

充用の経過

(単位：千円)

充用日	款	項	目	事業	充用額	内 容
R7. 4. 8	2	7	1	リージョンプラザ上越管理運営費	429	指定管理者から提出された実績報告書について、専門家による詳細調査を継続して行うための委託料
R7. 4. 10	6	2	3	既設林道維持管理事業	1, 664	4月下旬に営業を開始する施設に通ずる林道について、冬期の残雪を除雪するための委託料
R7. 4. 21	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	3, 861	市道本郷原山坊金線における道路崩壊について、復旧工事にかかる測量設計を行うための委託料
R7. 4. 24	6	1	5	農業用施設等維持管理費	5, 382	今冬の豪雪と春先の低温により、中山間地域の雪融けが遅れたことに伴う農道の春先除雪委託料
R7. 4. 24	6	2	3	既設林道維持管理事業	17, 707	今冬の豪雪と春先の低温により、中山間地域の雪融けが遅れたことに伴う林道の春先除雪委託料
R7. 4. 30	6	1	5	農業用施設等維持管理費	13, 200	市内の農地に鳥獣被害が発生し、営農に支障を来すことから、早急に復旧を行うための工事請負費
R7. 4. 30	6	2	3	既設林道維持管理事業	3, 520	倒木により、各区の林道施設に被害が発生し、通行に支障を来すことから、早急に復旧を行うための委託料
R7. 4. 30	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	10, 000	融雪により、市内の農地、農業用施設に被害が発生し、営農に支障を来すことから、早急に復旧を行うための工事請負費
R7. 6. 16	8	7	1	空き家等管理促進事業	1, 132	令和7年2月の大雪により特定空き家の一部が倒壊したことから、隣家への危険を回避するために行う緊急安全措置の委託料
R7. 7. 10	10	5	1	ユートピアくびき管理運営費	3, 300	館内空調の熱源装置に当たる冷温水発生装置に不具合が発生したことから、空調を安定稼働させるための修繕料
R7. 7. 15	6	1	2	農地渇水・高温対策事業	17, 607	今夏の高湿及び渇水による農畜産物等への被害を予防するための緊急支援に必要な通信運搬費、工事請負費及び補助金
R7. 7. 16	10	5	5	水族博物館管理運営費	1, 804	館内空調設備の一部が不調となり、稼働に支障が生じたことから、復旧を行うための修繕料
R7. 7. 25	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	3, 021	市道本郷原山坊金線における道路崩壊について、崩落した土砂の移動がなかったことを確認したことから、復旧を行うための工事請負費
R7. 7. 28	6	1	2	農地渇水・高温対策事業	10, 500	今夏の高湿及び渇水により農作物等への被害が始めていることから、被害の軽減・拡大を防止するための工事請負費及び補助金
R7. 7. 30	3	1	5	五智養護老人ホーム管理運営費	175	渇水への対策として施設運営に必要な衛生用品を購入するための消耗品費
R7. 7. 30	3	1	5	老人保護措置費等	639	渇水への対策として、千寿園の施設運営に必要な衛生用品を購入するための消耗品費
R7. 7. 30	3	2	2	公立保育所運営費	3, 302	渇水への対策として施設運営に必要な衛生用品等を購入するための消耗品費

(単位：千円)

充用日	款	項	目	事業	充用額	内 容
R7.7.30	3	2	2	ファミリーヘルプ保育園運営費	93	湯水への対策として施設運営に必要な衛生用品等を購入するための消耗品費
R7.8.6	2	1	1	庁舎等管理費	8,224	テレビ放送が受信できる公用車のカーナビ等において、未契約となっていたNHK受信料を支払うための使用料
R7.8.8	2	1	26	市民プラザ管理運営費	2,343	館内空調設備の一部が不調となり、稼働に支障が生じたことから、復旧を行うための修繕料
R7.8.22	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	10,000	令和7年8月7日からの大雨により農地、農業用施設に被害が発生したことから、早期に復旧を行うための工事請負費
R7.8.22	11	1	2	林業用施設災害復旧費	5,133	令和7年8月11日から12日にかけて発生した大雨により林業用施設に被害が発生したことから、早期に復旧を行うための工事請負費
R7.9.3	2	4	3	上越市長選挙費	2,400	上越市長選挙の執行に当たり、ポスター掲示板の作成費用及びポスター掲示場の設置・撤去に要する経費の増嵩に対する消耗品費及び委託料
R7.9.3	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	9,633	令和7年9月3日の大雨により土砂堆積した市道の路面清掃や地下道の排水及び清掃を行うほか、被災した市道を早期に復旧するための委託料及び工事請負費
R7.9.3	11	2	2	河川災害復旧費	600	令和7年9月3日の大雨による樋門の閉鎖に伴い、排水ポンプ車を配置するための委託料
R7.9.4	11	1	2	林業用施設災害復旧費	3,000	令和7年9月3日の大雨により林業用施設への被害が発生し、林道の通行に支障が出ていることから、早期に復旧を行うための工事請負費
R7.9.4	11	2	2	河川災害復旧費	4,050	令和7年9月3日の大雨により河川の閉塞などの被害が発生したことから、土砂撤去等を行うための工事請負費及び五智5丁目地内の崖斜面崩落に係る現況調査を行うための委託料
R7.9.10	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	5,000	令和7年9月10日に発生した突風により被災した市道の復旧工事を行うための工事請負費
R7.9.26	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	583	令和7年9月3日の大雨により被災した市道の法面崩落について、復旧工事に係る調査を行うための委託料
R7.9.30	3	1	5	老人保護措置費等	3,190	ケアハウス上越において、給湯管の腐食による漏水が発生したことから、給湯管を更新するための修繕料
R7.9.30	10	2	1	小学校施設管理費	407	令和7年9月3日の大雨により市立小学校から大量の雨水が流出し、隣地で土砂の移動と洗堀が発生したことから、復旧を行うための修繕料
R7.10.14	9	1	6	令和7年9月突風災害支援費	10,000	令和7年9月10日に発生した突風に伴う倒木被害等に対する復旧を支援するための補助金
R7.11.18	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	6,100	令和7年11月18日の大雨により被災した市道の復旧を行うための工事請負費
R7.11.25	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	6,640	令和7年11月22日の大雨により被災した市道の復旧を行うための工事請負費
R8.1.30	10	5	1	生涯学習センター管理運営費	1,617	積雪量が増加したことから、屋根雪の除雪を行うための委託料
R8.1.30	10	5	2	公民館管理運営費	1,005	積雪量が増加したことから、屋根雪の除雪を行うための委託料

(単位：千円)

充用日	款	項	目	事業	充用額	内 容
R8.2.5	2	4	3	衆議院議員総選挙費	8,930	大雪に伴う選挙物品の運搬費用の増嵩及び投票所の除雪や暖房機器の設置に係る委託料及び使用料等
R8.2.12	3	4	1	災害弔慰・見舞事業	2,499	令和6年能登半島地震により、災害関連死として認定された方のご遺族に対して支給する災害弔慰金
R8.3.13	3	1	1	要援護世帯除雪費助成事業	45,000	大雪により申請が見込みを上回った要援護世帯への除雪費助成給付費
R8.3.24	2	7	1	リージョンプラザ上越管理運営費	7,212	指定管理者から提出された実績報告に対する専門家による調査報告書の作成委託料
合 計					240,902	

款別の内訳

(単位：千円)

(単位：千円)

款名称	充用額
2 総務費	29,538
3 民生費	54,898
6 農林水産業費	69,580
8 土木費	1,132
9 消防費	10,000
10 教育費	8,133
11 災害復旧費	67,621
合計	240,902

予備費

当初予算額	100,000
6月補正予算額	55,700
9月補正予算額	52,000
9月補正予算額（追加分）	48,000
最終予算額	255,700
充用額	△ 240,902
予算残額	14,798

令和8年度 一般会計予備費の充用状況

令和8年8月19日現在

充用の経過

(単位：千円)

充用日	款	項	目	事業	充用額	内 容
R8. 4. 1	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	1,474	市道愛宕谷牛池線における道路崩壊について、復旧工事に向けて測量設計業務を行うための委託料
R8. 4. 1	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	6,720	市道虫生岩戸薬師山線ほか1路線における法面崩落について、早急に復旧工事を行うための工事請負費
R8. 4. 7	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	1,969	市道東頸城幹線における道路崩壊について、復旧工事に向けて測量設計業務を行うための委託料
R8. 4. 8	6	2	3	既設林道維持管理事業	501	4月下旬に営業を開始する施設に通ずる林道について、冬期の残雪を除雪するための委託料
R8. 4. 10	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	12,000	融雪により、市内の農地、農業用施設に被害が発生し、営農に支障を来すことから、早急に復旧を行うための工事請負費
R8. 4. 14	6	2	3	既設林道維持管理事業	1,147	豪雪により、中山間地域の雪融けが遅れていることに伴う林道の春先除雪委託料
R8. 4. 17	6	2	3	既設林道維持管理事業	584	倒木により、各区の林道施設に被害が発生し、通行に支障を来すことから、早急に復旧を行うための委託料
R8. 4. 17	10	1	2	教育委員会事務費	1,933	積雪に伴い菱の里の屋根が一部損壊したことから、復旧するための修繕料
R8. 4. 17	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	12,500	融雪により、市内の農地、農業用施設に被害が発生し、営農に支障を来すことから、早急に復旧を行うための工事請負費
R8. 4. 20	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	2,101	市道朴ノ木上用水線における道路崩壊について、復旧工事に向けて測量設計業務を行うための委託料
R8. 4. 27	10	5	3	直江津学びの交流館管理運営費	2,797	直江津学びの交流館の冷暖房設備について、室外圧縮機等の修理を行うための営繕修繕料
R8. 5. 12	7	1	2	大島やまざくら管理運営業務	1,375	大島やまざくらの冷蔵設備の修理を行うための営繕修繕料
R8. 5. 12	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	517	市道東頸城幹線における道路崩壊について、復旧工事に向けて地質調査を行うための委託料
R8. 5. 14	6	2	3	既設林道維持管理事業	1,457	倒木により、各区の林道施設に被害が発生し、通行に支障を来すことから、早急に復旧を行うための委託料
R8. 6. 15	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	440	市道朴ノ木上用水線の道路崩壊における測量設計業務委託について、重機の搬入搬出等に工事用道路が必要となったことから、仮設計画等を追加するための委託料
R8. 6. 23	3	4	1	災害弔慰・見舞事業	7,499	令和7年度豪雪により被災した2世帯に、災害弔慰金を支給するための扶助費
合 計					55,014	

款別の内訳

(単位：千円)

(単位：千円)

款名称	充用額
3 民生費	7,499
6 農林水産業費	3,689
7 商工費	1,375
10 教育費	4,730
11 災害復旧費	37,721
合計	55,014

予備費

当初予算額 100,000

6月補正予算額 47,000

現計予算額 147,000

充用額 △ 55,014

予算残額 91,986

第7次行政改革推進計画の令和7年度の取組について

第7次総合計画に基づくまちづくりの着実な推進と基礎的な行政サービスの確実な提供を目指し、3つの基本方針に基づく12の取組の柱の目標達成に向け取組を推進した。

【取組の体系】

基本方針	取組区分	取組の柱
① 人づくり	(1) 人材育成の強化	柱① 人材確保
		柱② 職員の能力向上
		柱③ 人事評価の見直し
		柱④ 人事異動の見直し
② 組織づくり	(1) 組織体制の強化	柱⑤ 組織機構・運用の強化
	(2) 働き方の見直し	柱⑥ 勤務形態の多様化
		柱⑦ 業務執行方法の改善
	(3) 行政サービスの立案・改善の強化	柱⑧ 施策・事業の立案・改善の強化
		柱⑨ 市民サービスの立案・改善の強化
③ 健全財政の維持	(1) 歳入の確保	柱⑩ 歳入の確保
	(2) 歳出の適正化	柱⑪ 事務事業の適正化
		柱⑫ 公共施設の適正管理と第三セクターの経営健全化の推進

1 基本方針ごとの取組結果の概要

① 人づくり

- 職員採用に係る通年採用の導入や公務員経験者枠の創設、採用PRの強化など、新たな取組を進め、行政運営を支える人材の確保に努めた。
- DX研修をBPR※1手法による実務課題の解決を学ぶ実践的な内容に見直すなど、各種研修の充実を図り、職員の資質・能力の向上に努めた。

② 組織づくり

- 庁内においてMicrosoft365※2や生成AIの導入・活用を進めるとともに、行政手続のオンライン化や決済のキャッシュレス化を推進し、事務の効率化や市民の利便性の向上を図った。
- 育児・介護を行う職員を対象とした早出遅出勤務制度の運用など、ライフスタイルに応じた柔軟な働き方を推進するための制度の拡充を図り、働きやすい職場環境づくりを進めた。

③ 健全財政の維持

- ふるさと納税や未利用財産の売却・貸付収入について、それぞれ目標を達成し、歳入の確保に寄与した。
- 公の施設の適正配置計画に基づく施設の廃止や民間の利活用を進め、市の将来的な財政負担の軽減を図った。

※1 BPR（Business Process Reengineering）：業務プロセスを調査・分解し、市民サービスの質の向上や人的リソースの活用等の面から問題点を分析し、業務プロセスの改善や再構築を図ること

※2 Microsoft365：メールやチャット、文書作成・共有などをクラウド上で利用できる業務用ソフトウェアのサービス

2 取組の柱ごとの取組結果

①人づくり (1) 人材育成の強化

柱① 人材確保

概要	○ 計画的な定員管理の下、行政課題に的確に対応し、良質な行政サービスを提供するために必要な能力や適性、専門性を有する人材の確保に向けた取組を強化するもの
目標	○ 良質な行政サービスを安定的かつ持続的に提供するため、必要な人材を確保している状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ 必要な職員数の確保に向け、年間を通じて採用機会を確保する通年採用を導入し、年4回の採用試験を実施した。
- ・ 即戦力となる人材の確保に向け、新たに公務員経験者枠を創設したほか、インターネット広告（Webサイト上でのバナー広告等）を活用するなど、採用周知の強化を図った。

■ 成果・課題

- ・ 通年採用や公務員経験者枠の創設など、新たな取組を進めたことにより、職員数の確保に寄与した。
- ・ 少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や、今後見込まれる定年退職者の増加により、安定した行政運営に必要な職員数の確保が困難になることが見込まれるため、採用の強化とあわせて、限られた職員数で効率的に行政サービスを提供できる事務執行体制の構築に向けた検討が必要である。

①人づくり (1) 人材育成の強化

柱② 職員の能力向上

概要	○ 社会経済情勢の変化や複雑化・多様化する市民ニーズに柔軟に対応した良質な行政サービスの提供を担う職員を育成するため、職員研修の拡充や自己研さんの推進を行うもの
目標	○ 職員研修等により、各職位に必要な資質・能力が向上している状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ DX研修について、対象者数を拡大するとともに、BPRの手法による実務課題の解決を学ぶ実践的な研修内容に見直した。
- ・ 高齢期職員研修について、役職定年後の円滑な業務遂行のため、文書管理・財務会計システムに関する実務研修を取り入れることとした。
- ・ 職員自らのキャリアデザインへの支援として、各業務での必要性や要望を踏まえ、資格取得支援制度について、新たに「情報」「技術」「事務」関係の6資格を追加し、拡充した。

■ 成果・課題

- ・ 研修後のアンケート結果では、DX研修を受講した多くの職員において、業務改善に対する意識の向上や行動の変化が見られた。
- ・ 職員研修により各職位に必要な資質・能力の向上を図ったほか、資格取得支援制度の対象となる資格数を拡充し、職員の自己研さんを推進した。
- ・ 社会環境の変化や行政需要の多様化に対応するため、研修内容や実施時期等の継続的な見直しを行う必要がある。

①人づくり (1) 人材育成の強化

柱③ 人事評価の見直し

概要

○ 人材育成のツールとして、職員の意欲と公務能率の更なる向上を図るため、人事評価制度の見直し・運用を行いながら、制度の熟度を高めるもの

目標

○ 人事評価により、職員の意欲や能率が向上し、行動につながっている状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ 令和5年度に見直した評価項目等に基づき人事評価制度を運用したほか、公平・公正な評価を行うための評価者研修を継続して実施した。
- ・ 「能力評価」における評価項目及び行動例について、被評価者が職位に求められる行動を判断しやすいように、更に細分化する見直しを行った。

■ 成果・課題

- ・ 「能力評価」における行動例を具体化したことで、職員に求められる行動を理解しやすくなり、自らの行動改善や能力向上への意識を高めることにつながった。
- ・ 人事評価制度の趣旨を維持しつつ、評価結果のフィードバック方法を見直し、評価者の負担に配慮した。
- ・ 人事評価制度を通じて職員の意欲や能力の向上を図るため、引き続き、育成の視点を踏まえた評価及び期首・期末面談に重点を置いて取り組む必要がある。

①人づくり (1) 人材育成の強化

柱④ 人事異動の見直し

概要

○ 広い視野と専門性を持つ職員を育成するとともに、職員の意欲向上と能力の発揮を促進し、あわせて、地域を知り、市民と共に考え行動する職員の育成に向け、キャリアデザイン、職員の希望や適性等を総合的に勘案した適材適所の人事異動を行うもの

目標

- 職員の専門性の向上が図られている状態
- 職員の意欲が向上し、能力が発揮されている状態
- 地域を知り、市民と共に考え行動する職員が育成されている状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ 採用からおおむね10年程度を目安としたジョブローテーションや、自己申告制度の運用により、職員の適性や意欲、キャリア志向を踏まえた人事異動を継続した。
- ・ 職員自己申告書の「キャリアデザイン欄」の記載項目を見直し、職員が異動を機に携わりたい業務をより具体的に記載できるよう変更した。

■ 成果・課題

- ・ ジョブローテーションや自己申告制度の運用により、職員の適性や意欲、キャリア志向を踏まえた職員配置につなげた。
- ・ 職員の意識調査の結果から、「人事異動が職員の成長や資質向上につながっている」との実感は、令和6年度から改善傾向が見られるものの、目標とする水準には達していない。
- ・ これまでの職員の意識調査に対する分析を踏まえ、引き続き、組織全体のパフォーマンスの最大化を基本としつつ、職員の適性や意欲、キャリア志向等を踏まえた人事異動の運用を行っていく必要がある。

②組織づくり (1) 組織体制の強化

柱⑤ 組織機構・運用の強化

概要	○ 総合計画に基づく政策・施策・個別事業を効率的かつ着実に推進できる組織体制を整備するとともに、意思決定の迅速化や組織横断的な連携を推進するなど組織運営の強化を図るもの
目標	○ 総合計画を着実に推進するための組織体制により行政課題に的確に対応している状態 ○ 迅速かつ的確な意思決定・実行、部局横断的な行政課題に対する部課等の意識の共有と連携が行われている状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ 下水道事業の一部をガス水道局へ移管したほか、女性サポートセンターの業務統合を行うなど、組織体制を一部見直した。
- ・ 地域の医療体制の確保に向けて地域医療検討チームを設置し、上越地域医療センター病院の経営改善や改築、上越医療圏の再編に関することなどについて、分野横断的な検討を進めた。
- ・ ふるさと納税の推進に向け、地域活性化起業人制度を活用して専門人材を受け入れ、ポータルサイトの改善や検索結果の向上に向けた取組など、情報発信の強化を図った。

■ 成果・課題

- ・ 地域医療検討チームにおける分野横断的な議論により、市としての方針を定め、中期再編に関する上越地域三市長による県知事要望につなげた。
- ・ 行政需要の変化や新たな課題に的確に対応するため、適時に組織体制を見直すとともに、重要課題への対応に当たっては、分野・組織横断的な連携を推進する必要がある。

②組織づくり (2) 働き方の見直し

柱⑥ 勤務形態の多様化

概要	○ 職員が持てる能力を存分に発揮できるよう多様な働き方を推進するなど、働きやすい職場づくりを行うことで、職員が業務に集中し、自分らしく活躍できる職場環境づくりを進めるもの
目標	○ ライフスタイル等に応じた多様な働き方の推進により業務に集中できる働きやすい職場環境づくりが進んでいる状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ 時間外勤務の縮減に向け、ノー残業デーにおける定時退庁を促す取組として、業務後の一部端末の使用制限及び定時放送を開始した。
- ・ 子育てや介護と仕事の両立支援を推進するため、育児部分休業制度や育児・介護を行う職員を対象とした早出遅出勤務制度の拡充を図った。また、職員が制度を分かりやすく理解できるよう「妊娠・出産・育児・介護と仕事の両立支援ハンドブック」を作成するなど、子育てや介護に関する各種休暇制度の周知や育児休業の取得促進に取り組んだ。
- ・ 職員が安心して働くことができる職場環境を確保し、より良い行政サービスを提供するため、「上越市職員カスタマーハラスメント対策基本方針」を策定し、庁内に周知した。

■ 成果・課題

- ・ 令和6年度と比べ時間外勤務が縮減したほか、ライフスタイルに応じた柔軟な働き方を推進するための各種見直しを進めたことで、働きやすい職場環境づくりが進展した。
- ・ 時間外勤務の更なる縮減に向け、実効性のある取組を進めるとともに、ライフスタイル等に応じた多様な働き方を推進するため、各種休暇・勤務制度等の適時の見直しや、積極的な取得・利用につなげるための取組を継続していく必要がある。

②組織づくり (2) 働き方の見直し

柱⑦ 業務執行方法の改善

概要	○ 非効率な業務執行等による職員の業務上の負担を軽減し、職員が持てる能力を存分に発揮できる環境を整えると同時に、業務の能率向上を図るため、デジタル技術の活用を含む業務執行方法の改善を推進するもの
目標	○ デジタル技術の活用や業務執行方法の改善の取組により、ペーパーレスやオンラインによる会議、文書事務の電子化といった効率的な働き方や業務の改善等が浸透することで、業務執行に係る負担が軽減し、能率が向上した状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ 庁内において、Microsoft365の導入や基幹系端末※1の無線環境を整備するなど、デジタル技術を活用した業務効率化に向けて執務環境を整備した。
- ・ 生成AIを新たに導入し、議会答弁書の素案の作成や、会議録の作成支援などの業務で活用を開始したほか、財務会計事務の自動化・効率化に向けてRPA※2ツールの導入準備を進めた。
- ・ 各所属における日常的な検証と改善を図る「セルフチェック」に取り組むとともに、BPRの手法による業務改善を実施するなど、業務執行方法の改善に取り組んだ。

■ 成果・課題

- ・ デジタル技術の活用によりペーパーレス化を推進したほか、BPRの手法による業務改善に取り組むことで、事務負担の軽減につなげた。
- ・ BPRやDXの取組による業務改善を更に推進するため、デジタルの知識を有し、庁内の業務改善を牽引できる人材を育成する仕組みを検討する必要がある。

※1 基幹系端末：住民記録や税情報など市民サービスに必要な情報を管理するシステムを利用するためのパソコン

※2 RPA (Robotic Process Automation)：人が行う定型的なパソコン操作を記録し、あらかじめ設定したシナリオに沿って、表計算ソフトや業務システムなど複数のアプリケーションを使用する業務を自動化するもの

②組織づくり (3) 行政サービスの立案・改善の強化

柱⑧ 施策・事業の立案・改善の強化

概要	○ 良質な行政サービスの提供を行うため、市民ニーズや社会経済情勢の変化をデータ等に基づき適切に捉え、成果や課題を整理し、PDCAサイクルに基づく施策や事業の立案・改善を一層推進するもの
目標	○ 総合計画の進捗管理等を通じて、市民に必要とされる良質な行政サービスの立案・改善が適切に行われている状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ 令和8年度当初予算編成に当たり「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向け、「みんなの笑顔」「産業いきいき」「こどもと家族を真ん中に」「多様な学び」の4つの視点に基づき、政策・施策の重点化を図った。
- ・ 汎用GISの活用に向け、各種業務への活用事例を紹介する動画を作成し、庁内に周知した。

■ 成果・課題

- ・ 令和8年度当初予算において、政策協議等を通じて政策・施策の重点化を図り、新規・拡充事業を予算化するとともに、事業の見直しを予算に反映した。
- ・ 汎用GISの具体的な事例を通して、GISの有用性と各種業務における活用方法について職員の理解を深めた。
- ・ 施策・事業の立案・改善の更なる強化に向けて、人口減少や少子高齢化、担い手不足などの共通課題に対応しつつ、4つのまちづくりの視点による施策を具体化するため、「第7次総合計画（後期基本計画）」の策定に取り組む。

②組織づくり (3) 行政サービスの立案・改善の強化

柱⑨ 市民サービスの立案・改善の強化

概要

○ 市民ニーズや社会の変化に迅速に対応した利便性の高いサービスを提供するため、行政手続や窓口サービスといった市が市民と直接接点を持つサービスについて、デジタル化を始めとする利便性の向上を行うもの

目標

○ 行政手続や窓口サービスなどについて、市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応したものであることで、市民の利便性向上や負担軽減を実現し、市民の満足度が向上した状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ オンラインで申請が可能な手続を拡充するとともに、窓口サービスの改善に向けて職員による窓口（戸籍）の体験調査を実施し、改善すべき課題を整理した。
- ・ 地図の写しの交付業務においてキャッシュレス決済を導入するとともに、他の業務における導入検討に活用するため、導入ガイドラインの作成に着手した。
- ・ 渇水対策として7月～9月に開設した給水スポットを公開型GISに掲載したほか、市公式LINEに防災関連情報を集約したメニューを追加するなど、市民への情報提供の充実を図った。

■ 成果・課題

- ・ 行政手続のオンライン化・決済のキャッシュレス化に関し、対象となる手続を拡充し、市民の利便性向上につなげた。
- ・ 公開型GISや市公式LINEを活用した情報提供の充実により、市民による情報の閲覧数や登録者数が増加した。
- ・ 窓口サービスの更なる改善に向け、行政手続のオンライン化に伴う窓口利用の状況変化や他自治体による先進的な取組を踏まえ、その在り方を検討する必要がある。

③健全財政の維持 (1) 歳入の確保

柱⑩ 歳入の確保

概要

○ 市民生活に必要な基礎的な行政サービスの提供、直面する課題への対応及び総合計画に基づく政策推進に所要とする財源の確保に取り組むもの

目標

○ 事務事業に所要とする財源を適正に確保し、過度な将来負担を抱えない状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ ふるさと納税の更なる活用に向け、返礼品の追加や首都圏でのPR強化に加え、ECサイトに精通した専門人材を受け入れ、ポータルサイトの改善など情報発信の充実を図った。
- ・ 流通業務団地をはじめ、未利用財産について売払・貸付を進めたほか、市内15の廃校についてサウンディング型市場調査を行い、利活用方策の需要調査を行った。
- ・ 令和9年度からの使用料の見直しに向け、「公の施設使用料等の算定に係る基本方針」の策定作業を進めた。

■ 成果・課題

- ・ ふるさと納税の寄附金額は、約11.6億円を受け入れ、目標額の10億円を上回った。
- ・ ふるさと納税について、返礼品の多くを占める米の需要に対応するため、米生産者と連携を図り必要な量を確保するほか、米以外の返礼品の更なる充実を図る必要がある。
- ・ 未利用財産の売却・貸付収入は、約2.65億円の歳入となり、合計目標額の1.43億円を上回った。
- ・ 未利用財産の処分に関し、利害関係者等が多く、廃止後の利活用や処分方針が定められていない案件が複数ある。

③健全財政の維持 (2) 歳出の適正化

柱⑪ 事務事業の適正化

概要

○ 必要な行政サービスを安定的かつ持続的に提供するため、PDCAサイクルに基づく事務事業の適正化に取り組むもの

目標

○ 限られた経営資源を効率的・効果的に投入するとともに、手法の合理化、運用の工夫・改善により経費の縮減が図られ、基礎的な行政サービスの確保と政策推進が両立している状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ 各所属における事務事業の自主的な検証と改善を図るため、PDCAサイクルに基づく「セルフチェック」を継続して実施した。また、「セルフチェック」の取組を定着するため、DX推進官が各課等へのヒアリングを実施し、BPRの手法を用いた業務プロセスの見直しを支援した。
- ・ 「持続可能な行財政基盤の構築に向けた取組」として、自所属の課題にとどまらず、組織全体の事務・業務の効率化につながる提案を庁内から広く募り、全庁的な業務改善を推進した。

■ 成果・課題

- ・ 「セルフチェック」や「持続可能な行財政基盤の構築に向けた取組」を通じて抽出された課題等について、速やかな改善や予算化につなげた。
- ・ 今後、人材確保が困難になることや物価高騰等による行政コスト増加が見込まれる中、必要な行政サービスを安定的かつ持続的に提供するためには、引き続き事業の見直しを行うほか、限られた職員数で効率的に行政サービスを提供できる事務執行体制の構築に向けた検討が必要である。

③健全財政の維持 (2) 歳出の適正化

柱⑫ 公共施設の適正管理と第三セクターの経営健全化の推進

概要

○ 公共施設に係る将来的な財政負担の軽減を図るため、施設の適正配置と効果的かつ効率的な管理を推進するもの

○ 第三セクターに対する関与方針に基づき、経営の健全化を推進するもの

目標

○ 公の施設の適正配置計画に基づく取組や施設管理の適正化を図ることで、市の将来的な財政負担が軽減された状態

○ 第三セクターの経営健全化を図ることで、市の将来負担が軽減されている状態

■ 令和7年度の実施内容

- ・ 公の施設の適正配置計画に基づき、関係者との協議を踏まえ、施設の廃止や民間活用に向けた取組を推進した。
- ・ 第三セクターに関する関与方針に基づき、第三セクター評価委員会の開催やコンプライアンス研修を実施するなど経営健全化に向けた取組を進めた。
- ・ 施設管理の適正化に向け、施設の利用実態等を把握し、開館時間や休館日、管理手法の見直しに関する基本的な考え方を整理したほか、指定管理者制度の適切な運用を図るため、「指定管理者制度の運用に関する基本方針」の策定作業を進めた。

■ 成果・課題

- ・ 公の施設の適正配置計画の取組等を進め、7施設を廃止（一部廃止を含む）したほか、うち1施設（高志児童館）については民間譲渡を行い、廃止後の利活用を進めた。
- ・ 令和8年度に公の施設の適正配置計画の中間見直しを行い、対象となる施設を選定した上で後期計画（令和9年度～12年度）を策定する。
- ・ 施設管理の適正化に関し、個別の施設ごとの利用実態や働き方改革に合わせ、開館時間や休館日、管理手法の見直しについて具体的な検討を進める必要がある。

令和7年度地域独自の予算事業 地域自治区別事業一覧表

※実施主体と提案団体が異なる場合は、「実施主体」欄に括弧書きで提案団体名を記載している。
 ※「自己負担額」欄には、補助事業における実施団体の自己負担額を記載しており、市の直営事業の場合、「－」を記載している。
 ※計、総計の件数は、未実施の事業を除いて記載している。

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
高田区								
1	風鈴街道 in 雁木2025開催事業	越後高田・雁木 ねっとわーく	243	206	37	歴史的文化遺産としての雁木の認識を普及し、雁木の景観を後世に残していく機運を醸成するため、8月1日から16日にかけて、区内28町内の雁木の軒先に風鈴を掲出するとともに、お休み処を開設したほか、雁木の魅力発見写真コンテストを行い、応募作品を2月28日から2日間、市民プラザで展示した。	文化振興課	130～131
2	高田世界館と高田の雁木町家PR事業	特定非営利活動法人 街なか映画館再生委員会	359	323	36	高田小町界隈の交流人口の増加、街なか散策の促進を図るため、雁木と町家のパネル40枚を作成し、3月25日から2日間、高田まちかど交流館でパネル展を開催するとともに、高田小町及び高田世界館周辺を高田市内観光の拠点と位置づけ、見どころを解説した「高田小町界隈散策ガイド」を増刷し配布した。	文化振興課	130～131
3	地域資源を活かした高田まちづくり事業	特定非営利活動法人 街なみFocus	864	674	190	雁木町家の景観保全、交流人口の増加、歴史文化の保全等を推進するため、雁木通りに面した窓や室外機への格子の取り付け等を行ったほか、チラシやパンフレット、のぼり旗を作成し、地域の祭などでの景観保全のPRを行った。また、意識啓発のため、地域住民も参加し、干し柿、切り干し大根づくりを行った。	文化振興課	130～131
4	高田の歴史文化を題材にした紙芝居の制作と朗読会開催事業	朗読グループ涼	215	150	65	地域に伝わる民話や歴史、文化を伝承し地域の魅力の再発見につなげるとともに、地域への愛着を育むため、高田区の歴史や文化を題材にした紙芝居3作品のシナリオと絵を再構成の上、デジタルデータを制作し、6会場で7回の朗読会を開催した。	文化振興課	130～133
5	北部地区の文化・賑わいを創出する事業	高田区北部振興会	598	470	128	芸術・文化に対する地域住民の意識を高め、高田区北部地域の活性化及びコミュニティづくりに寄与するため、11月2日から28日にかけて陀羅尼八幡神社において、紅葉まつりを開催し、紅葉のライトアップによる景観を創出するとともに、地域の演奏家による野外演奏会を開催した。	文化振興課	130～133
6	第4回にいがた水墨画フェスティバル開催事業	にいがた水墨画フェスティバル実行委員会	789	592	197	水墨画を通じた文化の振興を図るとともに、高田区のにぎわいに寄与するため、県内の水墨画愛好家や小・中学校等から出展を募り、3月27日から30日にかけて、ミューゼ雪小町において、「第4回にいがた水墨画フェスティバル」を開催した。	文化振興課	130～133
7	お馬出しプロジェクト事業	お馬出しプロジェクト	357	285	72	城下町高田の魅力を県内外に発信するとともに、地域住民に歴史を伝承するため、高田城下・時代絵巻練り歩きを4月6日に観桜会会場まで行ったほか、10月24日に武蔵野酒造「楽亭」にて地域の有識者を招いた講演会を開催し、2月7日には高田まちかど交流館にてコンサートを開催した。	文化振興課	130～133
8	高田瞽女の文化の発信事業	特定非営利活動法人 高田瞽女の文化を保存・発信する会	795	615	180	高田瞽女の文化を全国に発信し、高田区の交流人口の増加及び通年観光に寄与するため、4月にお話会、5月に天林寺にて妙音講と瞽女唄演奏会、6月にバスツアー、10月と11月に瞽女ミュージアム高田開館10周年記念特別講演会、2月に高田瞽女の門付け再現と瞽女唄演奏会を行ったほか、記念標柱の設置や瞽女映像の英語字幕付けを行った。	文化振興課	130～133
9	誰もが来てよい居場所になるように取り組む交流促進事業	誰でも集える場所。じくの家	403	334	69	地域住民による世代を超えた交流及びつながりの構築・深化を促進するため、毎週金曜日から月曜日の午前10時から午後3時に東本町2丁目のじくの家を会場に、誰でも参加できるお茶の会事業を184日間開催したほか、利用者の要望に応じ、各種講座等を開催した。	地域政策課	138～141
10	地域であんしんつながり事業	CAP・じょうえつ	220	187	33	子どもたちが地域のつながりの中で安心して過ごせる環境づくりを推進するため、人権啓発やカウンセリング、趣味の講座等を13回開催し、気軽に集まれる居場所づくりをしたほか、あんしんマップの活用の普及や、ポスター・パンフレットを作成し、イベント等で人権啓発活動を行った。	こども家庭センター	186～187

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
11	三世代交流フェスティバルと健康づくり交流事業	南三世代交流プラザ運営協議会	749	597	152	世代間交流の推進及び南三世代交流プラザの利用と地域住民の健康福祉を促進するため、9月27日に「三世代ふれあい広場」、12月20日に「三世代ふれあいクリスマスのつどい」を開催したほか、8月2日に南三世代交流プラザ前の雁木通りを歩行者天国にして「三世代交流フェスティバル」を開催した。	こども家庭センター	200～201
12	「高田本町商店街へ絵看板のあるまち～」ブランド力強化と発信事業	高田本町百年商店街実行委員会	785	549	236	歴史ある高田本町商店街のブランド化と商店街の活性化を図るため、市内学生が絵看板3基を新たに制作し、11月15日に新絵看板の完成発表・PRイベント「祝絵看板完成「顔見せだよ 全員集合」」を開催したほか、2月7日から3月8日にかけて絵看板PRイベント「冬の絵看板まつり」を開催した。	産業政策課	266～267
13	青田川桜並木整備と環境啓発事業	青田川を愛する会	872	688	184	青田川の保存と景観づくりを通じて、河川愛護の意識を啓発し、青田川の歴史を次世代へ伝承するため、桜並木の枝払い、施肥等を行ったほか、8月2日に青田川灯りロードを開催した。また、環境啓発ポスターや青田川案内マップを作成し、流域町内会等へ配布・掲示や、流域小学校の河川学習の資料、市民散策用として活用した。	河川海岸砂防課	290～291
14	第42回上越美術協会展及び会場における音楽会とまちなか美術館開催事業	上越美術協会	283	233	50	芸術・文化の振興及び高田市街地の活性化を図るため、8月14日から17日にかけて、ミューゼ雪小町において、「第42回上越美術協会展」を開催し、最終日には同会場内で音楽会を開催した。また、会期後の9月1日から30日にかけて、本町商店街の店舗等に希望の作品25点を貸し出し、回遊美術館を開催した。	小林古径記念美術館	348～349
15	文化と文化施設を使った交流促進事業	ミュージアムファンクラブ	—	—	—	団体の都合により、事業中止	小林古径記念美術館	—
16	中高生アスリートのサポート事業	特定非営利活動法人 上越スポーツボDEW	272	190	82	中高生アスリートが安心して競技を継続できるよう、実技以外の側面から支援するため、栄養指導やメンタルサポート、ケガの予防等に関する講座を9回開催したほか、特別講師を招いたセミナー・ワークショップを開催した。	スポーツ推進課	356～357
計 15件			7,804	6,093	1,711			

新道区

1	新道地区交流促進事業	新道地区活性化委員会	77	52	25	地域住民の心身の健康増進と地域の一体感を高めるため、5月に色とりどりの花を植栽したプランターを地域の医療機関、保育園、公民館に設置し、11月まで住民が協力して管理を行った。	地域政策課	138～141
2	稲田むすぶプロジェクト事業	稲田むすぶプロジェクト	3,929	3,499	430	地域のつながりの大切さに気付き、その喜びと達成感を見いだすため、5月と10月に中央橋の花壇に花苗を植える「稲田むすぶ花で架け橋活動」、10月11日に世代間交流イベント「稲田むすぶフェスティバル」を実施した。	地域政策課	138～141
計 2件			4,006	3,551	455			

金谷区

1	ミニ新聞「まめでやったけえ」発行継続および活用によるきずな拡大事業	「まめ」新聞有志会	103	92	11	地域内外における交流促進と生きがいの創出を図るため、地域住民が自ら執筆、編集、頒布まで一連の作業を行い、それぞれの思いや情報を共有するための新聞を5回発行するとともに、交流会を行った。	地域政策課	138～141
2	滝寺自然公園環境保全・保護活動事業	滝寺まちづくり協議会	319	287	32	地域の自然環境や歴史文化の維持・保全活動を通じて、住民間の交流を図るため、4月から11月にかけて、ミズバショウ自生地の保護・育成、毘沙門堂周辺及び参道の整備活動等を実施したほか、定期的に活動内容を掲載した会報を発行した。	地域政策課	138～141
3	金谷若者まちづくり参画事業	上越若者みらい会議	1,592	1,207	385	金谷区の若い世代の交流促進と地域の観光資源の利用促進のため、4月に金谷山公園フェス、7月と9月に南葉高原キャンプ場でエジマス釣りイベント、6月、8月、10月、12月、3月に福祉交流プラザでフリーマーケットを開催した。	地域政策課	138～141

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
4	正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業	正善寺紫陽花会	134	120	14	ダム公園としての景観保持と観光振興のため、4月から10月にかけて、正善寺ダム周辺と沿線の紫陽花の維持管理、不法投棄ごみの回収作業及び紫陽花のライトアップ等を実施した。	生活環境課	224～225
5	滝寺毘沙門堂奉納額解析による地域の宝広報事業	滝寺歴史保存会	525	472	53	江戸時代に滝寺毘沙門堂に奉納された発句額の適切な管理と継承を図り、地域の歴史や文化を発信するため、発句額のレプリカを制作して展示し、俳句専門家を講師に迎え奉納発句額の解析発表会を行った。	文化行政課	350～351
6	「金谷山とレルヒ」心かよわせた仲間たち～金谷山と周辺の歴史～事業	金谷山の歴史を発信する会	1,023	823	200	金谷山の歴史文化の顕彰や、地域活性化のため、レルヒ少佐や金谷山周辺の歴史、史跡などをまとめた冊子を作成し、関係機関や町内会へ配布したり出版記念報告会を開催したりするなど、地域住民が理解を深め魅力を発信した。	文化行政課	350～351
計 6件			3,696	3,001	695			
春日区								
1	安全に安心して暮らせるまちづくり（春日山町3町合同防犯対策）事業	春日山町防犯パトロール隊	223	200	23	春日山町の3町内会における空き巣等を防止するため、のぼり旗の掲出や、冬期間を除く住民による日中・夜間の防犯パトロール及び子どもの見守り活動を延べ414回実施したほか、高齢者を対象とした特殊詐欺被害防止に関する講演会を実施した。	市民安全課	108～109
2	御館川リバーサイド環境美化事業	大豆町内会	231	200	31	春日山城跡の入口の景観美化を図るため、4月から11月にかけて住民による御館川周辺の花壇整備やクリーン活動を実施したほか、8月2日に地元中学生の協力を得て夏祭りを開催した。	都市整備課	126～127
3	いきいき春日野ふれあいコンサート事業	いきいき春日野ふれあいコンサート実行委員会	485	436	49	春日区に暮らす人、活躍する人たちを音楽でつなげ、地域の活力向上を図るため、7月6日に「第19回いきいき春日野ふれあいコンサート」を上越文化会館で開催した。	地域政策課	138～141
4	そと遊びきぶん事業	そと遊びきぶん実行委員会	2,647	1,846	801	イベントを通じて、子どもたちの地域等に対する気持ちを育み、絆を深めるため、5月24日、25日と9月27日、28日に「そとで過ごす・そとで遊ぶ・皆で楽しむ」をキーワードに、体験ブース等を一堂に集めた野外イベントを開催した。	地域政策課	138～141
5	上杉軍出陣式維持保存事業	一義会	377	338	39	地域住民の参加による出陣式を維持・保存し、地域の魅力向上を図るため、8月25日の謙信公祭で武禊式を披露したほか、きき酒マラソンなどの各種イベントで甲冑を活用して来訪者をもてなした。	観光推進課	274～277
6	山鳥毛・謎解き謙信公の推し刀たち！事業	春日商工振興会	569	512	57	春日山城跡等への来訪機会を創出し、当市の認知度向上や住民の地域への愛着を高めるため、7月19日から11月24日にかけて、上杉謙信公ゆかりの刀剣に関する謎解きクイズラリーを春日山城跡周辺とWebで実施した。	観光推進課	274～277
7	謙信公生誕500年に向けた機運醸成事業	特定非営利活動法人 越後まほろば倶楽部	151	70	81	上杉謙信公生誕500年の節目に向け、市民の機運醸成を図り、にぎわいあるまちづくりを推進するため、生誕日に合わせて1月18日に上越文化会館で生誕496年記念講演会を開催した。	観光推進課	274～277
8	そば畑おためしオーナー制度事業	特定非営利活動法人 越後まほろば倶楽部	167	102	65	春日山城跡の魅力向上を図り、再来訪を促すため、3か年計画でそば畑のお試しオーナー制度を立ち上げ、ホームページの活用に加え、8月から11月にかけてのそばの試験栽培や11月の試食交流会の機会を活用して制度の周知を図った。	観光推進課	274～277
9	春日山城跡保存事業	春日山城跡保存整備促進協議会	1,067	937	130	春日山城跡の保存等を通じ来訪者の増加を図り、地域の宝として次世代へ継承するため、保全活動として、春の大掃除、3回の草刈り、春日小学校の4年生120人による松葉かきの支援を行った。また、6月29日に探訪会、11月15日に講演会を開催したほか、地元の中学生等35人の協力で本丸など6か所にベンチを10台設置した。	文化行政課	350～353
計 9件			5,917	4,641	1,276			

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
諏訪区								
1	芳澤謙吉翁顕彰事業	芳澤謙吉翁顕彰会	132	118	14	芳澤謙吉翁の功績や生き方に対する地域住民の関心と理解を深めるため、10月25日に諏訪地区公民館で講演会、公園内の米南荘で茶会を開催したほか、11月19日と26日に芳澤記念館で学習会を開催した。また、公園の景観保持のため、年3回清掃等を実施した。	文化振興課	130～133
2	諏訪の里づくり事業	諏訪の里づくり協議会	1,465	1,258	207	地域住民の融和と連帯感の醸成を図るため、諏訪まつり等のイベントや各種教室の開催、ホームページによる地域情報の発信に取り組んだ。また、諏訪小学校の閉校を受け、地域住民が集い、懐かしい資料等を見ながら往時を回想する「思い出カフェ」を開催するとともに、思い出を文集などにまとめた。	地域政策課	138～141
3	“明日の上越・諏訪を創る会” 未来来すわ事業	未来来すわ	33	29	4	地域の魅力と環境の素晴らしさを広く発信するため、地域の宝であるはさ木ロードや和みの八本桜の保全活動を実施したほか、町内会の協力を得て地域一帯にヒマワリを咲かせた。	地域政策課	138～141
4	諏訪への移住促進活動事業	移住促進諏訪の会	78	70	8	区内の定住人口の増加による地域の活性化及び団結力の強化を図るため、10月20日に中郷区のとままる学校の事例を視察研修、3月14日に移住促進フォーラムを開催した。また、チラシを2回全戸配布して活動の内容及び必要性を周知したほか、SNSを通じて地域の魅力を適宜発信した。	多文化共生課	140～143
5	すわっ子わくわく事業	すわっ子クラブ	406	365	41	子どもたちの健全育成や住民の郷土愛の醸成を図るため、学校の長期休業期間を始め、年間を通じて、二貫寺の森で野外活動を5回実施したほか、諏訪地区公民館等で各種体験教室を10回実施した。	社会教育課	332～333
計 5件			2,114	1,840	274			
津有区								
1	戸野目・四ヶ所雁木通り活性化支援事業	戸野目・四ヶ所雁木通り活性化協議会	323	290	33	戸野目・四ヶ所雁木通り地域の資源をいかして人が集まりたい場所と機会を作るため、5月から12月にかけて、保阪邸庭周辺で環境学習や植栽活動を7回実施した。	文化振興課	130～133
2	前島密翁生誕の地献碑祭103周年事業	前島密翁生誕の地献碑祭実行委員会	667	585	82	前島密翁の偉業を称え、住民の郷土愛を醸成するため、7月1日前島記念館で第103回前島密翁生誕の地献碑祭を開催した。また、8月9日に「前島密サミットin上越」を開催し、パネルディスカッションを行うとともに、その様子を動画で配信した。	文化振興課	130～133
3	前島密を主題とした創作劇開催事業	前島密翁顕彰事業実行委員会	484	280	204	地元の偉人を通じて地域の良さを再発見し、地域活性化につなげるため、前島密翁が辿った足跡や果たした功績を題材に劇を創作し、9月25日に雄志中学校で生徒と地域住民等に披露した。	文化振興課	130～133
4	津有地区地域づくり活動事業	津有地区地域づくり協議会	508	401	107	地域コミュニティの活性化を推進するため、10月に食生活改善推進員と連携して健康ウォーク、11月に地域の団体や保育園児と協力して文化祭を実施したほか、3月に広報紙を発行し、当該協議会の活動内容や住民からの寄稿文を発信した。	地域政策課	138～141
5	上雲寺小学校児童の地域お宝発見・地域住民ふれあい事業	上雲寺小学校後援会	154	136	18	児童目線で地域のお宝を発見し、地域への愛着を育むため、4月から12月にかけて写真の収集や原稿作成を行い、地域カレンダーを作成し、2月に保護者と町内会へ配布した。	社会教育課	332～333
計 5件			2,136	1,692	444			
三郷区								
1	三郷のバス停を花で飾る事業	三郷花を楽しむ会	90	80	10	地域住民の交流促進と景観美化を図るため、6月から11月にかけて、プランターの花植え作業を2回実施した。	都市整備課	126～127

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
2	さんごう仲間づくり事業	ENJOY35	14	12	2	地域住民の交流促進と健康の増進を図るため、三郷小学校PTAと連携したニュースポーツ体験や、地域住民が手作り品や不用品を持ち寄りフリーマーケットなどを行った。	地域政策課	138～141
3	三郷の熱い夏をみんなで楽しむ事業	三郷夏祭り実行委員会	2,762	2,483	279	三郷区の世代間交流と地域活性化を図るため、8月2日にゲームコーナーや屋台の設置、ミニライブ、芸能発表、花火を行う夏祭りを開催した。	地域政策課	138～141
4	高齢者支援・交流（「買い物ツアー」の実施）事業	三郷まちづくり振興会	172	154	18	高齢者の買い物支援と相互交流を促進するため、7月から3月にかけて、買い物ツアーを3回実施した。	高齢者支援課	184～185
5	郷土芸能無形文化財「春駒」の伝承事業	三郷まちづくり振興会	119	106	13	三郷区の郷土芸能無形文化財「春駒」を伝承するため、民謡踊り教室を6回開催したほか、夏祭りなどで3回発表し地域住民の関心を高めた。	文化行政課	350～351
6	三郷地区の歴史・史跡を研究する事業	三郷地区の歴史・史跡を研究する会	115	103	12	地域住民の歴史・史跡に関する意識の高揚を図り、歴史資源をいかした地域づくりにつなげるため、越後国分寺推定地と伝えられる場所の地中探査を11月に行ったほか、ジオラマ制作や講演会を実施した。	文化行政課	350～351
7	三郷地区健康ウォーク事業	三郷体育振興会	153	137	16	三郷区の世代間交流と健康増進を図るため、10月26日に「秋の健康ウォーキング」を開催した。	スポーツ推進課	358～359
計 7件			3,425	3,075	350			

和田区

1	上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業	上越妙高駅と共に歩む会	59	52	7	上越妙高駅利用者に当地のおもてなしや義の心を届けるとともに、主要イベント等に合わせ、更なるにぎわいと交流の推進を図るため、上越妙高駅の自由通路等18か所に通年デザインのものほり旗3種類、加えて観覧会、観覧会の開催時にはPRのものほり旗を30か所に設置したほか、のものほり旗の設置・撤去時には、ゴミ拾い等美化活動を行った。	観光推進課	274～277
2	今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業	上越妙高駅と共に歩む会	155	139	16	地域の宝である今泉城跡の大ケヤキを保護・活用し、地域住民の意識高揚、誇りや一体感の醸成を図るとともに、にぎわいや交流の促進に寄与するため、5月から11月にかけて大和神社境内の木陰に鑑賞・休憩施設並びに大ケヤキの周辺12か所にのものほり旗を設置したほか、6月1日と8月24日に清掃・美化活動を行った。	文化行政課	350～351
計 2件			214	191	23			

高士区

1	ふるさと高士まつり事業	高士地区振興協議会	568	400	168	地域のにぎわいを創出し、まちづくりや活性化を図るため、8月17日に高士小学校で子どもから高齢者まで多くの住民が一堂に会して交流する「ふるさと高士まつり」を開催した。	地域政策課	138～141
2	地区だより「たかし」発行事業	高士地区振興協議会	272	241	31	住民の地域活動への関心を高めるため、地域の各種団体からも編集委員として参画してもらい、毎月25日に地区広報紙を500部発行し、各団体の様々な活動内容を一元的に発信した。	地域政策課	138～141
3	高齢者安全な暮らし支援事業	ひとふさの会	324	185	139	高齢者が孤独を感じることなく、健康的に暮らせるよう、町内会による見守り活動等のほか、8月から3月にかけてお楽しみ交流会を6回実施した。また、弁当の配食サービスを毎月1回実施し、配達時の声掛けを行った。	高齢者支援課	176～177
4	健康寿命日本一を目指す（食事・運動・睡眠・生きがい）事業	高新会	73	65	8	地元で収穫される食材について学び、地域全体の健康寿命を延ばすため、7月から3月にかけて料理教室を6回開催し、7月には運動学習会、12月には睡眠学習会も実施した。また、これらの成果をチラシにまとめ、地域へ4回周知した。	農政課	248～251

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
5	「雪まつり (キャンドルイ ベント)」開催 による地域交 流・地域活性化 事業	高士地区雪まつ り実行委員会	2,698	2,427	271	地域の魅力を発信し、知名度を上げるとともに、住民の団結力を高めるため、2月21日に岩の原葡萄園と高士地区多目的研修センターで高士地区雪まつり（高士ルミネ）を開催した。	観光推進課	268～269
6	令和7年度 稲谷 【だんとうの大 杉】保存事業	稲谷【だんとう の大杉】保存会	539	484	55	歴史継承の大切さを学ぶとともに住民間の交流を図るため、4月、6月、11月に美化活動や保存活動を行った。また、6月には市ホームページ「地域の宝」の当該情報を更新し広く発信したほか、11月9日には、地域住民を対象に作業の報告と今後の保存活動について勉強会を行った。	文化行政課	350～351
7	高士地区ニュー スポーツ普及事 業	総合型地域ス ポーツクラブ 高士地区体育協 会	246	216	30	誰でも気軽に参加できるニュースポーツを通じて、地域住民の体力の維持・向上や地域行事への参加促進を図るため、3月8日にポッチャ大会を開催した。	スポーツ推 進課	358～359
8	高士地区・高士 小学校体育大会 事業	総合型地域ス ポーツクラブ 高士地区体育協 会（提案団体： 高士地区振興協 議会）	63	51	12	スポーツを通じて地域住民の交流と体力の維持・向上を図るため、5月24日に子どもから高齢者までの住民が一堂に会し、高士地区と高士小学校の合同体育大会を開催した。	スポーツ推 進課	358～359
計 8件			4,783	4,069	714			

直江津区

1	クリーンナップ 上越 i n 五智事 業	ひまわり會	639	573	66	海岸線（市道五智居多ケ浜シーサイドライン線）における環境美化のため、植栽及び清掃活動を行うとともに、国府小学校の児童の協力を得て作成したゴミ捨てマナー啓発看板を植栽箇所に設置した。	都市整備課	126～127
2	福永十三郎顕 彰・四十物祭事 業	まちおこし直江 津	578	519	59	直江津の歴史的な偉人「福永十三郎翁」の遺徳を偲ぶとともにまちへの集客と活性化の一助とするため、四十物祭を11月9日に実施し、福永十三郎翁の商権復活の尽力や、当時の直江津の歴史と多彩な食文化を来場者と共有した。	地域政策課	138～141
3	直江津のグランド デザインを描く 事業	直江津プライド 2021	390	351	39	自分たちのまちを自分たちの手で良くしていくことで躍動する直江津を創っていくため、市民参加で検討した三八朝市の活性化策「出店者の似顔絵づくり」と「三八マルシェ」を実施した。	地域政策課	138～141
4	天王川クリーン ナップ大作戦事 業	直江津プライド 2021	286	253	33	環境意識の向上とまちづくり活動の意識醸成を図るため、直江津の重要な水辺空間である天王川内及び天王川沿いの清掃活動を8月3日、11月23日に地域住民全体で行った。	生活環境課	224～225
5	くびき野サイク ルロゲイニング i n 直江津事業	越後輪衆	92	52	40	サイクルツーリストに対する直江津の魅力発信、交流人口の拡大を図るため、サイクリングを通じて地域の歴史・文化を再発見するイベントとしてサイクルロゲイニングを7月5日に開催した。	観光推進課	274～277
6	直江津写真フェ ア事業	上越写真連盟	395	355	40	直江津の魅力を再発見・発信するため、「撮って発見 直江津の魅力」をテーマにした写真コンテストを開催するとともに、2月21日から22日にかけて市民プラザにて応募作品の展示を行った。	観光推進課	274～277
7	交流と賑わいによる「みなとまちづくり」事業	直江津港周辺活性化協議会	1,475	1,117	358	直江津港を拠点としたまちの活性化を図るため、佐渡汽船ターミナルを会場として、8月9日に直江津港盆踊り大会、1月18日に寒がりまつりを実施した。	産業立地課	292～293
8	五智公園の環境 保全、有効活用 事業	五智公園を育てる会	103	92	11	五智公園の価値や魅力を一層高めていくことを目的に、公園の植生の改善及び希少植物の保護、紹介パネルの展示、リーフレットの配布等を行った。	都市整備課	294～297
計 8件			3,958	3,312	646			

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
有田区								
1	R350花壇整備事業	350同友会	353	317	36	地域住民から楽しんで歩いていただくことで、周辺地域の環境美化活動と地域住民の健康を促進するため、国道350号沿線の花壇の植栽や草取りを行い、花壇を美しく整備した。	都市整備課	126～127
2	有田地区いきいき支援事業	有田福祉の会	1,759	1,581	178	地域全体で支え合う基盤を作り、地域活性化を図るため、65歳以上を対象とした体操講座等を行う高齢者サロンを73回、生後1か月から2歳頃の親子を対象とした、絆づくりを促進する子育てサロンを18回、未就学児の親子を対象とした、親子で楽しめる講座等を5回実施した。	高齢者支援課	180～181
3	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業	直江津東地域学園運営協議会	4,767	4,290	477	直江津東中学校区における小・中学生の自立や若手リーダーの育成等を地域全体で支援するため、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、小・中学生が地域の先輩等から学ぶ機会を設けたほか、立志式等の行事を開催した。	学校教育課	314～315
計 3件			6,879	6,188	691			
八千浦区								
1	八千浦地区活性化・青少年育成事業「八千浦地区海まつり」	海まつり実行委員会（提案団体：八千浦地区明るい町づくり協議会）	1,019	917	102	地域住民の融和や将来を担う次世代の郷土愛の醸成と協働の精神を培うため、八千浦区の地域資源である海に親しむ海まつりを9月6日に開催した。	地域政策課	138～141
2	八千浦地区活性化・青少年育成事業「やちほ文化展・はまぐみ市」	八千浦地区明るい町づくり協議会	106	92	14	地域住民の交流やにぎわいの創出を図るため、住民の創作活動の発表と地域文化の再発見を目指す「やちほ文化展」を11月1日、2日に開催した。併せて地域産品等のPRを行う「はまぐみ市」を11月1日に開催した。	地域政策課	138～141
3	八千浦地区活性化・健康増進事業「ニュースポーツDAY」	八千浦地区明るい町づくり協議会	1,126	778	348	地域住民の世代を超えた交流と健康増進を図るため、大人（高齢者）から子どもまで楽しめるニュースポーツの大会「ニュースポーツDAY」を6月15日、9月28日、10月26日、12月7日の4回開催し、延べ333人が参加した。	スポーツ推進課	358～359
計 3件			2,251	1,787	464			
保倉区								
1	保倉地区環境美化事業	保倉まちづくり振興会	229	205	24	保倉地域の環境美化や住民同士の交流を推進し、地域の活性化を図るため、保倉地区町内会、保倉小学校、保倉保育園、保倉地区公民館等の花壇や公園等に住民が花苗3,200本を植栽し、各町内会等で水やり、草取りを行った。	都市整備課	126～127
2	保倉地区早朝ラジオ体操事業	保倉まちづくり振興会	24	21	3	保倉区の一体感の醸成を図るため、年齢や性別、体力に関係なく多くの人が参加できる早朝ラジオ体操を8月3日に実施し、地域住民が顔を合わせる機会となり、地域内でお互いを見守る機運が高められた。	地域政策課	138～141
3	「保倉歩こう会」～楽しく歩こう、保倉を知ろう～	保倉まちづくり振興会（提案団体：保倉区地域協議会）	122	75	47	保倉区の一体感や地域への愛着を高めるため、住民が顔を合わせ楽しみながら歩き、区内の自然や歴史、施設などを知る「保倉歩こう会」を10月11日に計画したが、雨天により屋内でミニ運動会を実施した。	地域政策課	138～141
4	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業	直江津東地域学園運営協議会	476	428	48	直江津東中学校区における小・中学生の自立や若手リーダーの育成等を地域全体で支援するため、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、小・中学生が地域の先輩等から学ぶ機会を設けたほか、立志式等の行事を開催した。	学校教育課	314～315
計 4件			851	729	122			

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
北諏訪区								
1	地域コミュニティ活性化事業	北諏訪まちづくり振興会	237	213	24	北諏訪地域の活性化や地域住民の交流・親睦を図るため、29回目となる「まつりっち in 北諏訪」を10月18日に実施し、チアダンス等のステージイベントに加え、子どもたちから高齢者まで区全体で協力して作成したランタンを灯す催し等を行った。	地域政策課	138～141
2	北諏訪区地域の魅力PR事業	北諏訪まちづくり振興会	160	136	24	北諏訪区の魅力となる歴史・文化・スポーツ行事などの情報を広く周知するため、北諏訪だよりを年3回発行した。	地域政策課	138～141
3	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業	直江津東地域学園運営協議会	448	403	45	直江津東中学校区における小・中学生の自立や若手リーダーの育成等を地域全体で支援するため、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、小・中学生が地域の先輩等から学ぶ機会を設けたほか、立志式等の行事を開催した。	学校教育課	314～315
計 3件			845	752	93			
谷浜・桑取区								
1	谷浜・桑取のガイドマップ作成事業	谷浜地域づくり協議会	70	62	8	谷浜・桑取区への来訪者を始め多くの方々に分かりやすく見どころをPRするため、ガイドマップを1,000部増刷し区内外に配布したほか、ガイドマップに掲載されている場所を巡る「ガイドマップ巡り」を11月9日に実施した。	観光推進課	268～269
2	城ヶ峰砦・長浜砦の景観保全事業	谷浜地域づくり協議会	301	265	36	谷浜地域の歴史遺産、観光資源として城ヶ峰砦・長浜砦を継承・PRするため、4月から10月にかけて地域のボランティアを募りながら、両砦周辺の散策道整備や草刈り等を行った。また、4月6日、4月12日、7月5日、7月12日、11月16日にウォーキング、8月23日に狼煙上げを実施した。	文化行政課	350～351
3	里神楽伝承による地域の元気創造事業	桑谷里神楽伝承会	337	303	34	地域の伝統芸能である桑谷地区の里神楽を継承するため、子ども里神楽練習会を5回、小学校の総合学習での練習を10回実施したほか、伝承用資料を作成した。また、9月27日の月満夜の里神楽では、大人の演者と同一舞台上で子どもが舞を披露した。	文化行政課	350～351
4	谷浜・桑取地区地域の宝「古道の歴史・地域にわたる昔語り」伝承事業	特定非営利活動法人 かみえちご山里ファン倶楽部	403	282	121	地域への愛着と誇りの醸成及び関係人口増加を図るため、既存記録の読み込みや情報収集、高齢者サロンにおける聞き取り調査等を進め、冊子の原稿案を整え、地域内の古道の歴史、昔語りを冊子にまとめる活動や小・中学生を交えた学習会を実施した。	文化行政課	350～351
計 4件			1,111	912	199			
安塚区								
1	棚田等の維持・活用に関する研修・交流会	エコ・ヴィレッジ大原	234	163	71	棚田を始めとする中山間地の田や里山の保全を通じて集落の活性化を進めるため、市外、県外を含めた地域から棚田・里山に関心を持つ様々な立場の人が集まる研修会（取組事例紹介、現地視察）を開催し、情報共有や今後続くネットワークづくりなどを行った。	農業振興課	244～245
2	2025 やすづか「小さな祭り」開催事業	特定非営利活動法人 NPO雪のふるさと安塚	1,336	1,197	139	各種体験教室やコンサート等の実施を通して、地域内外からの来訪者に各活動団体の活動内容を知ってもらうため、ヤナギバひまわりの開花に合わせて、10月4日から13日にかけて、雪だるま物産館や雪中貯蔵施設ユキノハコなど各会場でイベントを開催した。	農政課	246～247
3	「風土が料理人2025」スローフードフェア開催事業	特定非営利活動法人 NPO雪のふるさと安塚	907	635	272	雪と棚田に代表される安塚の風土が育んだ食の魅力のアピールするため、旧安塚町が発行した「風土が料理人」の仕掛け人を講師に「スローフード講座」を開き、その成果を「山里のごちそうパーティ」を開催して周知した。また、「山里のごちそうバイキング」として区内の施設で提供し、手打ちそばだけでなく、新たな食の魅力発信した。	農政課	246～247

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
4	山のうえの雪まつり事業	山のうえの雪まつり実行委員会	2,927	1,287	1,640	交流人口の増加と地域の活性化を図るため、2月28日の「灯の回廊」及び「安塚キャンドル・ロード」に合わせて、キュービッドパレイスキー場において雪上火火やゲレンデ逆走！宝探しを始めとした雪上イベントを開催した。	観光推進課	268～269
5	山のうえ真夏の雪まつり事業	山のうえの雪まつり実行委員会	1,276	893	383	交流人口の増加を目指して、スキー場の閑散期である真夏の8月16日に、雪室の雪を活用した雪山の創出を始め、アウトドア体験、各種アトラクション、緑日・移動販売車の出店などを内容とするイベントを開催した。	観光推進課	268～269
6	安塚リバーサイド「小さな桜まつり」	特定非営利活動法人 NPO雪のふるさと安塚	1,565	1,095	470	交流人口の拡大と地域の活気づくりの機会とするため、桜まつりを開催し、沿線の町内会の協力の下、板尾公園特設会場での観桜会イベントや安塚コミュニティプラザで開催した桜の写真展などにより、安塚区を訪れるきっかけづくりに結び付けた。	観光推進課	268～269
計 6件			8,245	5,270	2,975			
浦川原区								
1	第16回浦川原和太鼓祭事業	特定非営利活動法人 保倉川太鼓	915	799	116	日本古来の和太鼓を通じ、日本の伝統文化と和の心を浦川原区から発信し、当該地区を人と地域が元気なまちとするため、10月11日に第16回浦川原和太鼓祭を開催した。	文化振興課	130～133
2	うらがわら雪あかりフェスタ事業	うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会	798	658	140	区内における交流と区外からの誘客を進め、雪と親しみながら地域活力の向上を図るため、2月28日に開催された灯の回廊の一環として、「うらがわら雪あかりフェスタ」を開催するとともに、その見どころや茶屋など、来場者に楽しんでいただけるポイントやシャトルバスの運行ルートを掲載したおでかけマップや誘導看板を作成した。	観光推進課	268～269
3	うらスポマラソン大会事業	特定非営利活動法人 うらがわらスポーツクラブ	1,216	325	891	青少年の健全育成や市民の健康増進につなげる場とするため、参加ランナー、スタッフ、沿道でのボランティアなど、関わる住民がそれぞれ体力づくりや地域力の向上を意識づける機会として、6月15日に「うらスポマラソン大会」を開催した。	スポーツ推進課	358～359
計 3件			2,929	1,782	1,147			
大島区								
1	あぜ道ほたる・夢灯り in ほたるの里事業	大島地区振興協議会	628	513	115	地域住民が主体的に関わり、交流する機会を創出することにより、地域コミュニティの活性化及び関係人口の増加につなげるため、6月14日に「あぜ道ほたる・夢灯り」及び「自然よ輝け、ほたるの光で」音楽ライブを開催した結果、約350人の来場者にろうそくの幻想的な風景と音楽を楽しんでもらうことができた。	地域政策課	138～141
2	大島区魅力発見・PR事業	大島まちづくり振興会	294	264	30	大島区の郷土愛の醸成及び交流人口の拡大と認知度アップを目指し、ご当地キャラクター「おーちゃん」を活用し、6月、10月、11月に開催された区内イベントでPR活動を実施するとともに、キーホルダーなどのPRグッズの作成に取り組んだほか、フォトコンテストを開催し、応募作品を駅や区内事業所、ホームページ等で展示・発信した。	地域政策課	138～141
3	地域の宝を活かした「薬師 Re:Project」地域活性化事業	細越平生会	481	433	48	交流・関係人口の更なる拡大を図るため、「薬師山道」の整備を5月から11月にかけて実施した。また、9月から10月にかけては「ブナの森美術館」、10月4日に「薬師CAFE」、3月7日に「ユキノアカリ」を開催し、合計約580人の来場者に楽しんでもらうことができた。	観光推進課	268～269
計 3件			1,403	1,210	193			
牧区								
1	川上山里の風コンサート事業	川上地区協議会	991	788	203	地域の活力維持と郷土愛を育むため、地域の宝物として維持管理している川上会館（旧川上小学校校木造体育館、国登録有形文化財）を活用し、「川上山里の風コンサート」を10月18日に開催した。	文化振興課	130～133

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
2	「牧っていいね」を広げる情報発信事業	特定非営利活動法人 牧振興会	258	180	78	区内でのつながりと関係人口の増加につなげるため、特定非営利活動法人牧振興会のホームページ（ブログ）やインスタグラムを活用し、年間を通して牧区における暮らしと住民の様子を発信した。	地域政策課	138～141
3	高齢者の生活支援事業	特定非営利活動法人 牧振興会	261	182	79	自ら通院や買い物等の外出が困難な高齢者等が安心して暮らしていけるよう支援するため、高齢者等の外出支援を週2回（牧区内コース1回、牧区外コース1回）、年間で47回実施し、買い物などの際の見守りや荷物の運搬、移動時の介助などの身辺サービス全般を行った。	高齢者支援課	184～185
4	牧区棚広産雪下キャベツ「深山姫」収穫体験事業	農事組合法人 棚広生産組合	—	—	—	収穫量不足により、事業中止	農業振興課	—
5	地域の活性化促進事業（まき深山のともしび）	牧区地区協議会 連絡会議	919	827	92	にぎわいを創出するとともに地域の魅力を発信し区内外に交流の輪を広げるため、2月21日に冬の一大イベントである灯の回廊に参画し、牧区全体の手作りイベント「まき深山のともしび」を開催した。	観光推進課	268～269
6	沖見地区観光拠点づくり事業	沖見地区協議会	218	195	23	沖見地区の玄関口であるふるさと村自然と憩の森を地域の観光拠点とするため、6月から11月にかけて花の植栽や遊歩道の整備を行った。	観光施設課	272～273
7	青少年健全育成体験事業	特定非営利活動法人 牧振興会	469	405	64	達成感や経験などの学びと成長の場を提供するため、5月から2月にかけて花壇の整備、デイキャンプ、雪だまりづくりなど子どもたちが普段できないイベントを3回開催した。	社会教育課	332～333
8	「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業	牧文化協会	97	87	10	生涯学び続けることの楽しさを伝え、文化活動参加者や鑑賞者の裾野を広げるため、6月28日、29日に牧文化協会主催による「夢まつり」を牧コミュニティプラザ、牧体育館で開催した。	社会教育課	334～335
9	宮口古墳公園・遊歩道維持管理事業	市（提案団体：宮口古墳花の会）	388	388	—	宮口古墳群や資料館への誘客を促進するとともに、幅広い世代へ憩いの場としての公園活用により交流人口の拡大を図るため、花壇での花植えを中心に美化活動を実施するとともに、遊歩道の整備を実施した。	文化行政課	350～351
計 8件			3,601	3,052	549			

柿崎区

1	かきざき湖八重桜広場の八重桜の植樹事業	ガンバ米山	290	232	58	地域住民の交流促進と地域のにぎわいを創出するため、4月29日に観桜会を開催し、地域住民の交流を深めることができた。また、6月から11月にかけて、八重桜の手入れ、草刈り、電気柵の設置・撤去を行ったほか、11月2日には八重桜を植樹した。	地域政策課	138～141
2	黒川黒岩ふれあい事業	16ピース	2,662	1,725	937	地域住民と出身者との交流促進、相互が一体となり地域を支え守ろうとする地域コミュニティの醸成を図るため、4月から11月にかけて、旧黒川小学校跡地の草刈りや花植えによるフラワーロードの整備、8月14日に黒川黒岩ふれあいまつりを実施した。	地域政策課	138～141
3	柿崎時代まつり「下黒川地区夏まつり」事業	柿崎時代まつり「下黒川地区夏まつり」実行委員会	1,494	1,337	157	地域の一体感や郷土愛を醸成するため、5月1日、5月15日に郷土の伝統芸能「十三夜」の伝承に向けた講習会を開催したほか、8月23日に下黒川地区夏まつり、10月8日にふるさとウォーキング、3月7日に河川美化活動に取り組み、若者や子どもたちへ伝統文化を継承するとともに、ふるさとを愛する心の育成に寄与した。	地域政策課	138～141
4	都市部大学生の農業体験交流事業	柿崎区認定農業者協議会	480	336	144	都市部の学生等の若者と農業者等の地域間交流を図るとともに、関係人口や交流人口の増加及び移住・定住・就農へつなげるため、農業に関心のある学生等の農業体験として、東京農工大学1回、国際基督教大学4回の受入を行った。	地域政策課	138～141
5	坂田池園地桜植替え事業	柿崎観光協会	702	560	142	桜並木の再生と美しい水辺環境を維持し、区内外からの来訪者の増加を図るとともに、子どもたちが自然環境の保全意識を高めるため、11月7日に上下浜小学校児童と桜苗木の植樹、現存樹木への施肥を行い、9月11日に高田城址公園の桜守から管理や手入れ方法の助言を受け、枯損木の伐採や枯枝の剪定、枯木化を予防するための抗菌剤を塗布した。	観光施設課	276～279

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)	
	6	地域活性化のための空き家利活用推進事業	かきざき空き家利活用協議会	2,617	1,814	803	柿崎区内における空き家の利活用を進め、柿崎区内への移住・定住を促進するとともに、地域の活性化と生活環境を維持するため、ホームページへの物件登録を行うとともに、7月12日から9月21日にかけて、クラウドファンディングを実施したことにより、ホームページへのアクセス件数が増加した。	建築住宅課	298～301
	7	第8回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展	手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会	488	389	99	ものづくり文化の伝承と世代間交流を促進するとともに、いきいきと健康に暮らせる地域社会の構築を図るため、浄善寺を会場に10月3日から5日にかけての3日間、作品展を開催し、作品を鑑賞してもらうとともに、「苔玉づくり」、「ポーセラーツ」、「紙バンドづくり」体験を実施した。	社会教育課	332～333
	8	猿毛城址登山道保存事業	柿崎観光協会	504	453	51	地域住民が地区の歴史・観光資源を再認識するとともに、環境整備・保存の意識を高めるため、7月と10月の2回、登山道や山頂広場の雑木伐採を行うとともに、案内看板を設置したほか、かきざき歴史講演会を開催し、領主・柿崎景家について学びを深めることができた。	文化行政課	350～351
	9	「テニスのまち柿崎」スポーツ交流促進事業	柿崎テニスクラブ	261	87	174	交流人口の増加を図るとともに、「テニスのまち柿崎」の歴史を次世代につなぐ人材を育成するため、10月12日、13日に第2回柿崎オープンテニス大会を開催し、地域間や世代間の交流を図るとともに、テニス講習会を開催したほか、柿崎庭球クラブ100年のあゆみと小松雄吉氏を紹介したリーフレットを作成し、大会参加者に配付した。	スポーツ推進課	358～359
計 9件			9,498	6,933	2,565				
大潟区									
	1	3世代交流事業 人魚の塚継承	雁子浜町内会	1,291	1,162	129	大潟区に伝わる「人魚伝説」及び小川未明文学への地元住民や来訪者の関心を高め、世代間交流を図るため、人魚塚の整備を実施するとともに、10月19日に小川未明ゆかりの地文学散歩を開催した。	文化振興課	130～133
	2	九戸浜のお宝発掘事業 海からの贈り物：流木アート編	九戸浜町内会	176	158	18	地域や環境への意識を高めるために、海岸清掃で集めた流木を用いて制作したアート作品を11月1日と2日に行われた大潟作品展で展示した。	地域政策課	138～141
	3	ジャンボ縁日事業	鵜の浜温泉観光組合	2,020	1,381	639	鵜の浜温泉街のにぎわいの創出と地域住民の活力とするため、7月18日から8月17日にかけての週末3日間及び、9月14日にむかし懐かしい縁日を実施した。	観光推進課	268～269
	4	鵜の浜温泉色彩音楽花火事業	鵜の浜温泉観光組合	4,463	2,922	1,541	鵜の浜温泉の魅力を市内外に発信し、来訪者数増を図るとともに地域住民の活力に資するため、9月14日に鵜の浜温泉名物である色彩音楽花火やお酒まつりを中心としたイベントを開催した。	観光推進課	268～269
	5	鵜の浜人魚館美化活動事業	人魚館サポーターズクラブ	63	41	22	鵜の浜温泉及び鵜の浜人魚館への地域愛の醸成や利用促進を図るため、鵜の浜人魚館敷地内の草刈りや植栽等の美化活動を年4回実施した。	観光施設課	278～279
	6	九戸浜のお宝発掘事業 鵜の浜温泉紹介冊子編	九戸浜町内会	240	216	24	鵜の浜温泉に対する地元住民及び市民の愛着を醸成するため、鵜の浜温泉誕生の経緯をまとめ、資料収集等を行い、研究成果の発表を行った。	文化行政課	350～351
計 6件			8,253	5,880	2,373				
頸城区									
	1	南川地区大規模防災訓練	南川振興会	235	95	140	地域住民と外国人市民が共に指定避難所の開設準備や運営訓練を行い相互理解を深めるとともに、災害時に双方が安全に避難できるようにするため、10月19日に防災訓練を実施した。	危機管理課	108～109

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
2	頸城線植栽モデル事業	くびき花の会	1,214	1,080	134	区内を花いっぱいにする活動を通じて、住環境の整備やコミュニティの醸成を図るため、5月13日から6月10日にかけて頸城線、高速道路側道交差点近く植樹帯40mの間にモデル的に花木の植栽を行った。	都市整備課	126～127
3	「頸城の名建築 白田邸 建築講座&見学会」事業	上越の歴史的建造物と景観を守る会	256	175	81	地域の大切な宝である白田邸を活用し、地域への愛着の醸成や交流人口の拡大を図るため、6月22日、10月26日に歴史的建造物に関する講座と白田邸の建築見学会を行った。	文化振興課	130～131
4	坂口記念館の特色を活かした事業	市（提案団体：特定非営利活動法人 くびき来夢ネット）	105	105	—	坂口記念館の魅力を発信し、交流人口の拡大を図るため、坂口記念館で発酵を広める講座として、6月14日に発酵講座、9月19日に三五八づくり体験、12月12日にさかきん発酵鍋づくりを行った。	文化振興課	132～133
5	花の苗里親育成事業	市（提案団体：特定非営利活動法人 くびき来夢ネット）	224	224	—	区内を花いっぱいにする活動を通じて、住環境の整備やコミュニティの醸成を図るため、坂口記念館を会場に6月11日、10月15日に挿し木講習会を実施した。また、挿し木で頸城区推奨の花を増やすため、希望する町内会などに坂口記念館で増やした苗木の配布を行った。	文化振興課	132～133
6	外国人市民との交流及びファーマーズマーケット	縁	2,695	1,809	886	地域住民と外国人市民との食を通じた国際交流を深めるとともに、農業の魅力を発信することを目的として、11月1日に国際色あふれる食材や調味料を活用したイベントを実施した。また、4月から10月にかけては、農業体験を通じた地元住民と外国人市民との交流事業を実施した。	多文化共生課	136～137
7	日本の伝統文化きものを通して地域文化を盛り上げたり、国際交流を深めたりする事業	くびききものくらぶ	—	—	—	事業目的の達成が困難となり、事業中止	地域政策課	—
8	頸城区の情報を定期的に発信するポータルサイト事業	ジモ活Base	1,345	941	404	頸城区の情報発信を通じて区内の活動団体の活性化や連携強化を図るため、活動団体などへの取材をもとに、頸城区内で行われるイベントや事業を掲載するホームページを製作するとともに、SNSを活用した情報発信の取組を強化するため、インスタグラム教室を開催した。	地域政策課	138～141
9	くびき冬季フェスティバル	くびきお祭りネットワーク	684	465	219	イベントの少ない冬季に子どもたちが楽しみながら雪に親しみ、頸城区の伝統や歴史を継承できるように、2月8日に頸城の歴史を題材としたジャンボカルタや雪の迷路などのイベントを行った。	地域政策課	138～141
10	ふるさとの宝を保存し、後世に歴史的意義を伝える事業	特定非営利活動法人 くびきのお宝のこす会、市（提案団体：特定非営利活動法人 くびきのお宝のこす会）	2,870	2,692	178	地域の大切な宝であるくびき野レールパークを活用し、地域への愛着の醸成や交流人口の拡大を図るため、車両の乗車体験や紙芝居による公演などの一般公開事業を年4回実施するとともに、安定した走行ができるよう老朽化が著しい車両エンジンの修繕を行った。	地域政策課	138～141
11	大池の四季散策と親子イベント体験事業	特定非営利活動法人 頸城区観光協会	411	328	83	大池・小池の魅力をいかし、交流人口の拡大を図るため、四季を通じて身近な大池の自然を体験する散策ツアーを年4回、大池いこいの森ビジターセンターを利用した親子イベントを5回実施するとともに、散策ツアーの実施に向けた散策道の維持管理を行った。	観光推進課	268～269
12	大池いこいの森施設運営事業	特定非営利活動法人 頸城区観光協会	6,685	4,392	2,293	大池・小池の魅力をいかし交流人口の拡大を図るため、ビジターセンターを拠点にキャンプ場の運営と物品販売等のサービスの提供を行うとともに、休憩所の開放等を行った。	観光施設課	276～279
13	大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業	雁金城跡保存会	586	526	60	大池に近接する雁金城跡を活用し、交流人口の拡大を図るため、大池・小池の利用者が雁金城跡に安全に登れるよう大池側からの登山道の整備を行うとともに、8月23日に謙信公祭にあわせた狼煙上げ、10月25日に山城探訪の楽しみとして板倉区にある箕冠城跡に関する歴史講座を実施した。	観光施設課	276～279
計 12件			17,310	12,832	4,478			

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
吉川区								
1	地域の魅力再発見事業 ～縄文から現代を考えるパート2～	いのち応援団	149	104	45	古（縄文）の人々の生き方を通じて、現代の私たちの営みやいのちを考えるため、11月24日に関連するテーマの映画上映会とトークイベント、12月7日に地域の遺跡を巡るフィールドワーク、いのちや性を取り上げた講演会を開催した。	地域政策課	138～141
2	木と花の駅プロジェクト事業	里山文化研究会	442	304	138	里山資源の活用による地域経済の活性化を目的に、「木と花の駅」を10月25日、11月15日、3月21日に開催し、薪、きこ楳木、チェーンソー目立ての個人指導などを実施したほか、11月1日に「広葉樹の伐採研究会」、「女性講師による女性のための林業教室」を実施し生産者と購買者のマッチングと生産者の拡大と技術向上を図った。	農林水産整備課	254～255
3	吉川観光重点2地区活性化推進事業	吉川観光協会	3,100	2,790	310	吉川区を代表する地域資源である尾神岳エリアとよしかわ道の駅エリアの活性化を図るため、8月11日にサマーフェスティバル、9月27日に尾神そば早食い選手権、11月8日に天岩戸尾神岳伝説記念事業として現地見学会と講演会、11月15日に尾神岳山頂でトレッキングの各イベントを実施したほか、道の駅情報コーナーの充実を図った。	観光推進課	268～269
4	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	988	868	120	長峰城の歴史や役割、城づくりの特徴等について理解を深めることができるようにするとともに、魅力向上を図るため、5月18日と11月24日に大胡城・長岡城関係団体との交流、8月10日に長峰城見学会を開催し、講師の話聞きながら堀や土塁などを巡るとともに、5月3日から見学コースの整備、3月22日に雪割草見学会を実施した。	文化行政課	350～351
5	『吉川区と上杉家の繋がり』大乗寺の歴史伝承事業	大乗寺町内会（提案団体：吉川区地域協議会）	537	480	57	吉川区大乗寺に伝わる歴史伝承とともに吉川区内に訪れる人の増加を図るため、6月29日と8月31日に吉川区と上杉家の繋がりをテーマとする学習会、11月9日に春日山と吉川区、柿崎区の謙信公ゆかりの地を巡る現地学習会を実施したほか、特産品（菓子）の原材料のかぼちゃの生産・販売を行った。	文化行政課	350～351
計 5件			5,216	4,546	670			
中郷区								
1	小さな地域で始める共生のまちづくり事業	一般社団法人中郷区さとまる学校	1,635	1,311	324	誰もが相互に人格や個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を認め合う地域の実現を図るため、地元小学生のアイデアを形にした共生カレンダーの制作及び区内全戸へ配布した。また、年齢を問わず自分の存在価値を認識するため、共生をテーマにした「共生フェスタ」を12月6日に、「共生ステージ『華響』」を3月22日に開催した。	多文化共生課	120～121
2	第7回二本木駅鉄道まつり事業	特定非営利活動法人 中郷区まちづくり振興会	2,348	2,113	235	国の登録有形文化財「二本木駅」を地域の宝として発信し、鉄道ファンや地域内外からの集客により、交流人口の増加を図るため、11月1日に「第7回二本木駅鉄道まつり」を開催した。	地域政策課	138～141
3	中郷区高齢者いきいき支援事業	中郷区老人クラブ連合会	1,470	832	638	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりの場を創出するため、6月から3月にかけてクラブ体験、6月13日、10月10日にグラウンドゴルフ大会、10月1日に自立体力検定、6月27日、10月29日にノルディックウォーク体験の4つの取組を実施した。	高齢者支援課	180～181
4	子どものい～場所開設事業	市（提案団体：中郷区地域協議会）	799	799	—	子ども同士が気軽に集まり自由な活動ができる場所を提供するため、9月25日、10月27日、11月17日、12月17日、1月22日、2月2日、3月9日の計7回、「子どものい～場所」を開設し、延べ219人が参加した。	こども家庭センター	198～201

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
5	「こ食」解消で健康な身体づくり事業	一般社団法人中郷区さとまる学校	1,225	843	382	こ食に起因する栄養不足や肥満などの生活習慣病のリスクを回避するため、7月24日、30日、8月6日、13日、20日、12月20日の計6回、市保健師による講話や地域に伝わる料理を提供するさとまる食堂に加え、学習時間や体験メニュー等を取り入れた令和の寺子屋、自然体験を実施した。	健康づくり推進課	212～215
6	中郷区空き家相談窓口設置事業	市（提案団体：一般社団法人中郷区さとまる学校）	175	175	—	放置空き家や危険空き家の増加を予防するため、一般社団法人中郷区さとまる学校（総合事務所2階）に、1級空き家管理士及び空き家相談士の専門家が相談にのる窓口を常設した。また、受託団体の自主事業として、2月24日に空き家セミナーを開催した。	建築住宅課	298～301
7	「縄文の郷 中郷」の具現化事業	縄文学校、市（提案団体：縄文学校）	488	408	80	縄文土器が多数出土している地域文化をいかすため、6月から11月にかけて竪穴式住居の復元作業を計6回行った。6月29日に津南町の「なじもん」を視察し、各種取組を学んだ。また、7月から3月にかけて縄文講座を計8回開催したほか、「なかごう夏まつり」や「こ食解消で健康な身体づくり事業」へ縄文体験コーナーを設置した。	文化行政課	350～351
計 7件			8,140	6,481	1,659			

板倉区

1	地域に残る伝説の紙芝居作成事業	寺野玉手箱グループ	328	295	33	板倉区の歴史・文化の継承や、地域の連帯感の醸成を図るため、板倉区に残る伝説を題材とした紙芝居として、「山寺薬師」「片葉の草」の2作品を地元の板倉小学校、豊原小学校児童から色塗りに協力してもらい作成した。また、完成した紙芝居を各小学校と4地域で上演し、延べ150人以上が参加した。	文化振興課	130～133
2	板倉の文化語り部継承とアーカイブ事業	いたくら文化研究会	528	366	162	板倉区の有恒学舎を設立した増村朴斎氏の偉業や歴史的背景を後世に残すような語り部を養成し、文化の記録保存を行うため、小林正之氏（有恒高校同窓会会長）を講師に迎え、「増村朴斎と有恒学舎」と題した講演会を開催したほか、講演を撮影、編集し、YouTubeにアップするとともに、講演記録冊子を作成し配布した。	文化振興課	130～133
3	YAWAYAWA MARKET itakura事業	YAWAYAWA MARKET実行委員会	1,808	1,247	561	人的交流を促進することにより、板倉区の魅力を全国に発信するため、「また来なくなる、板倉」をコンセプトにした「YAWAYAWA MARKET」を、5月31日、11月29日にゑしんの里記念館で開催した。	地域政策課	138～141
4	ベースキャンプ in 光ヶ原高原（光ヶ原高原活性化）事業	板倉まちづくり振興会	2,143	1,855	288	交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、6月28日から10月13日にかけて光ヶ原高原キャンプ場を運営するとともに、8月2日には2年ぶりに「光ヶ原高原 高原祭2025」のイベントを開催し、光ヶ原高原の開放的な自然を満喫してもらうことができた。	観光施設課	276～279
5	いたくら里山彩花事業	みどりやすらぎグループ	2,940	2,628	312	観光集客・地域活性化を図るため、4月26日から5月18日にかけて「芝桜まつり」、6月14日から7月13日にかけて「アジサイ・七夕まつり」、8月2日から8月17日にかけて「ひまわりまつり」を開催し、区内の有志ボランティアの方や地元中学生による環境美化や植栽作業を実施した。	観光施設課	278～279
6	光ヶ原高原ヒルクライム	光ヶ原高原ヒルクライム実行委員会	2,455	1,464	991	自転車を活用したスポーツ振興や健康増進、交流人口の拡大を図るため、9月27日に標高950mの光ヶ原高原の地形を生かしたヒルクライム大会を実施した。	スポーツ推進課	358～359
7	廃校を活用した交流の場創出事業	板倉区中山間地域農業振興会	1,290	903	387	市外からの交流人口の増加と地域活性化につなげるため、廃校となった旧山部小学校体育館に整備したスポーツクライミング施設を活用して、未経験者向け体験会や国スポ新潟県予選会会場を始めとする各種大会会場としての誘致を実施した。	スポーツ推進課	358～359
計 7件			11,492	8,758	2,734			

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
清里区								
1	坊ヶ池交流施設 運営管理事業	一般社団法人 櫛池農業振興会	3,863	3,464	399	繰り返し清里を訪れる交流人口の拡大を図るため、ビュー京ヶ岳で4月下旬から11月にかけての土日祝日にカフェを営業したほか、11月9日に恒例の新そばまつりを開催した。	地域政策課	138～141
2	地域交流促進事業	きよさと観光交流協会	507	385	122	清里区特有の自然や文化などの地域資源を地域内外の人に知ってもらい、何度も訪ねていただけるよう、清里区の地域資源や歴史文化資源を活用したふるさと史跡探訪ツアーを2回、ブナの森ハイキングを1回開催したほか、清里区の自然景観、歴史・文化財などを掲載した「自然・歴史観光マップ」を作成した。	地域政策課	138～141
3	スターフェスティバル2025及び天文教育普及事業	天文指導協力委員会	1,180	1,050	130	郷土愛の醸成と交流人口の拡大を図るため、8月13日から15日にかけて上越清里星のふるさと館にて「スターフェスティバル2025」を開催し、天文講演会を始め、プラネタリウムに星空を投影した中でのヴァイオリンコンサートを行ったほか、天文工作教室などを開催した。	社会教育課	334～335
計 3件			5,550	4,899	651			
三和区								
1	高校生通学等支援事業（三和区デマンドタクシーの実証運行）	市	912	912	—	子育て世帯の負担軽減と通学の新たな交通手段のニーズ・有効性検証のため、令和6年度に引き続き、路線バス運行終了時間帯に高田区～三和区間で高校生の通学等を支援するデマンド乗合タクシー（1日3便）の実証運行を実施した。	交通政策課	120～123
2	福祉外出支援事業	特定非営利活動法人 三和区振興会	2,101	826	1,275	障害のある人や介護が必要な高齢者等の外出支援と、介助する家族の負担軽減を目的に、通院や買い物の送迎サービスを実施した。広報や地域包括支援センター等の紹介により登録者が増加し、家族の負担軽減に加え、高齢者等の外出機会の拡大による介護予防や健康づくりに寄与した。	福祉課	172～173
3	三和ふれあい食堂事業	三和ふれあい食堂運営委員会	488	240	248	食を通じて住民の世代間交流を図るため、子どもから高齢者まで地域住民が気軽に集える「三和ふれあい食堂」を年5回開催した。	こども家庭センター	186～187
4	谷内池の環境保全とオニバス再生プロジェクト事業	三和の自然と地域を育む会	1,964	1,754	210	市指定文化財「谷内池とオニバス」の価値向上と継承を目的に、谷内池及び三和中学校プールでのオニバス繁殖や、草刈り等の環境整備と維持管理を実施した。取組がマスコミに紹介され、三和区内外へ谷内池とオニバスの魅力を広く発信することができた。	環境政策課	226～227
5	さんわ桜の陣事業	さんわ桜の陣実行委員会	1,260	925	335	三和区が誇る「桜と食」の魅力発信と地域経済の好循環創出を目的に、「さんわ桜の陣2025」を開催した。情報媒体の活用により区内外から多くの来場者を集め、ステージイベントや展示、出店が好評を博した。	産業政策課	264～265
6	灯火のイベント事業	三和の自然と地域を育む会	455	405	50	地域のつながりの深化と来訪者との交流人口拡大を目的に、雪灯籠やLED灯籠による灯火イベントを開催した。多雪をいかし雪の滑り台やかまくらを新設するとともに、小・中学生が和紙に絵を描いたLED灯の演出を行い、参加型の催しとして好評を得た。	観光推進課	268～269
計 6件			7,180	5,062	2,118			
名立区								
1	名立機雷爆発事件継承事業	市（提案団体：名立の子どもを守り育む会）	60	60	—	名立漁港機雷爆発事件を末永く伝え、平和や戦争について自ら考える機会を提供するため、2月5日から13日にかけてうみてらす名立で名立・平和を願う日パネル展、2月14日から24日にかけて名立地区公民館でミニパネル展を行ったほか、2月14日には第12回名立・平和を願う日関連事業として宝田小、名立中による学習報告会及び追悼歌合唱を行った。	多文化共生課	104～105

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
2	名立駅マイ・ステーション作戦事業	名立駅マイ・ステーション作戦実行委員会	241	216	25	名立駅の利用促進と地域活性化を図るため、クリーン作戦と題し、10月と12月に計2回ホームや待合室の美化を行ったほか、季節に合わせた作品を掲示した。また、10月5日に駅からウォーキング、12月20日にクリスマスイベント、3月15日にトキ鉄開業11周年イベントを開催した。そのほか、冬期のストーブ設置、たよりの発行を行った。	交通政策課	120～121
3	若者・子育て世代の繋がり強化事業	新名立青年会	663	464	199	若者や子育て世代の居場所づくりによる地域コミュニティの醸成や団結力を高めること、地域への愛着を育むことを目的に、地元産ブナ材を使用した体験やおさがり交換会、立地をいかした夕日交流会などのワークショップやイベントを10回開催したほか、冬の不動キャンドルロードとの連携や草刈りなどの建物整備を実施した。	地域政策課	138～141
4	名立区いきいきサロン運営事業	名立区いきいきサロン運営協議会	637	338	299	高齢者の閉じこもり防止や健康維持、介護予防に取り組むため、地域住民の自主運営によるいきいきサロン（8地区）と、区域や年齢を限定しないまちなかサロンを年間99回実施したほか、福祉施設職員を講師に、介護、健康に関する研修会を2回行った。	高齢者支援課	180～181
5	中山間地域再生可能エネルギー導入推進事業	名立区脱炭素地域づくり研究会	182	117	65	再生可能エネルギーを導入・推進するため、名立川の流量調査結果や水力発電の実効性、また発電の水源となる森の特徴などについての学習会を6月19日と12月7日に開催したほか、3月1日に福井県今立郡池田町へ先進地視察を行った。	環境政策課	222～223
6	名立そばと旬の農産物フェア事業	上越市名立区農業振興協議会	662	362	300	地域活性化及び地域資源を活用した所得の確保を目指し、ろばた館リニューアル記念として名立和牛を使用した和牛まつりを10月5日に、作付面積が増加している中山間地域振興作物のそばを活用したそばまつりを11月22日と23日に開催したほか、12月3日、10日に健康づくり講座と連携したそば打ち体験を実施した。	農政課	242～243
7	水源保護地域の森活用事業	輝く里不動の会	1,113	1,002	111	地域の誇り、愛着の醸成を図るため、10月25日に市内最大級の水源である不動地区のブナ林を会場とした「みずの森フェスティバル」を開催したほか、11月14日、16日には事業に協力しているつながりで、東京農工大学において当該地域のPRを行った。	農林水産整備課	254～255
8	水源かん養地維持に向けた森林調査分析事業	不動生産森林組合	1,100	770	330	水源かん養地を維持するため、6月30日、9月22日、10月23日、11月8日にドローンでの空撮やレーザー計測を行ったほか、9月3日には現地調査を行った。	農林水産整備課	256～257
9	雪を活かしたまちづくり推進事業	輝く里不動の会	164	147	17	雪をいかした冬季間のまちづくりを進め、区内の一体感醸成やにぎわいを創出するため、不動地区を会場として2月21日に不動キャンドルロードを開催した。	観光推進課	268～269
10	名立四季の魅力発信推進事業	名立海の学校実行委員会	1,954	1,366	588	名立区の四季の魅力を区内外に広く発信することによる交流人口の増加やイベントを通じた担い手の育成を目的に、9月13日、14日にオータムフェスタ、8月から11月にかけて5回、久比岐自転車道のサイクリング体験、3月19日から25日にかけてよもぎPRイベントを行ったほか、官民連携で魅力発信にかかる会議を2回開催した。	観光推進課	268～269
11	名立区の魅力創造発信事業	特定非営利活動法人 名立の100年後を創造する会	666	599	67	名立区の魅力を生市内外へ発信するため、名立谷浜IC前の景観整備、宇山を紹介するチラシの発行、謙信公祭に合わせた狼煙上げ、名立地区公民館で3月7日、8日に写真コンテスト及び展示会、10月25日に写真の撮影指導会などを実施した。	観光推進課	274～277
12	名立バスケットボール支援事業	新名立青年会	148	103	45	競技者増加や健康増進、子どもたちにスポーツの楽しさを伝えることを目的に、11月15日に名立カップを開催したほか、年間を通し体験会を4回開催した。	スポーツ推進課	358～359
計 12件			7,590	5,544	2,046			
総計 171件			146,397	114,082	32,315			

令和7年度地域独自の予算事業 常任委員会別事業一覧表

※実施主体と提案団体が異なる場合は、「実施主体」欄に括弧書きで提案団体名を記載している。
 ※「自己負担額」欄には、補助事業における実施団体の自己負担額を記載しており、市の直営事業の場合、「－」を記載している。
 ※計、総計の件数は、未実施の事業を除いて記載している。

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
農政建設常任委員会									
農林水産部									
1	名立そばと旬の農産物フェア事業	上越市名立区農業振興協議会	662	362	300	地域活性化及び地域資源を活用した所得の確保を目指し、ろばた館リニューアル記念として名立和牛を使用した和牛まつりを10月5日に、作付面積が増加している中山間地域振興作物のそばを活用したそばまつりを11月22日と23日に開催したほか、12月3日、10日に健康づくり講座と連携したそば打ち体験を実施した。	名立区	農政課	242～243
2	棚田等の維持・活用に関する研修・交流会	エコ・ヴィレッジ大原	234	163	71	棚田を始めとする中山間地の田や里山の保全を通じて集落の活性化を進めるため、市外、県外を含めた地域から棚田・里山に関心を持つ様々な立場の人が集まる研修会（取組事例紹介、現地視察）を開催し、情報共有や今後続くネットワークづくりなどを行った。	安塚区	農業振興課	244～245
3	2025 やすづか「小さな祭り」開催事業	特定非営利活動法人 NPO雪のふるさと安塚	1,336	1,197	139	各種体験教室やコンサート等の実施を通して、地域内外からの来訪者に各活動団体の活動内容を知ってもらうため、ヤナギバひまわりの開花に合わせ、10月4日から13日にかけて、雪だるま物産館や雪中貯蔵施設ユキノハコなど各会場でイベントを開催した。	安塚区	農政課	246～247
4	「風土が料理人2025」スローフードフェア開催事業	特定非営利活動法人 NPO雪のふるさと安塚	907	635	272	雪と棚田に代表される安塚の風土が育んだ食の魅力をアピールするため、旧安塚町が発行した「風土が料理人」の仕掛け人を講師に「スローフード講座」を開き、その成果を「山里のごちそうパーティ」を開催して周知した。また、「山里のごちそうパイキング」として区内の施設で提供し、手打ちそばだけでなく、新たな食の魅力を発信した。	安塚区	農政課	246～247
5	健康寿命日本一を目指す（食事・運動・睡眠・生きがい）事業	高新会	73	65	8	地元で収穫される食材について学び、地域全体の健康寿命を延ばすため、7月から3月にかけて料理教室を6回開催し、7月には運動学習会、12月には睡眠学習会も実施した。また、これらの成果をチラシにまとめ、地域へ4回周知した。	高士区	農政課	248～251
6	牧区棚広産雪下キャベツ「深山姫」収穫体験事業	農事組合法人棚広生産組合	—	—	—	収穫量不足により、事業中止	牧区	農業振興課	—
7	木と花の駅プロジェクト事業	里山文化研究会	442	304	138	里山資源の活用による地域経済の活性化を目的に、「木と花の駅」を10月25日、11月15日、3月21日に開催し、薪、きのこ榎木、チェーンソー目立ての個人指導などを実施したほか、11月1日に「広葉樹の伐採研究会」、「女性講師による女性のための林業教室」を実施し生産者と購買者のマッチングと生産者の拡大と技術向上を図った。	吉川区	農林水産整備課	254～255
8	水源保護地域の森活用事業	輝く里不動の会	1,113	1,002	111	地域の誇り、愛着の醸成を図るため、10月25日に市内最大級の水源地域である不動地区のブナ林を会場とした「みずの森フェスティバル」を開催したほか、11月14日、16日には事業に協力しているつながりで、東京農工大学において当該地域のPRを行った。	名立区	農林水産整備課	254～255
9	水源かん養地維持に向けた森林調査分析事業	不動産産森林組合	1,100	770	330	水源かん養地を維持するため、6月30日、9月22日、10月23日、11月8日にドローンでの空撮やレーザー計測を行ったほか、9月3日には現地調査を行った。	名立区	農林水産整備課	256～257
都市整備部									
1	御館川リバーサイド環境美化事業	大豆町内会	231	200	31	春日山城跡の入口の景観美化を図るため、4月から11月にかけて住民による御館川周辺の花壇整備やクリーン活動を実施したほか、8月2日に地元中学生の協力を得て夏祭りを開催した。	春日区	都市整備課	126～127
2	三郷のバス停を花で飾る事業	三郷花を楽しむ会	90	80	10	地域住民の交流促進と景観美化を図るため、6月から11月にかけて、プランターの花植え作業を2回実施した。	三郷区	都市整備課	126～127

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	3 クリーンナップ 上越市五智事業	ひまわり会	639	573	66	海岸線（市道五智居多ヶ浜シーサイドライン線）における環境美化のため、植栽及び清掃活動を行うとともに、国府小学校の児童の協力を得て作成したゴミ捨てマナー啓発看板を植栽箇所に設置した。	直江津区	都市整備課	126～127
	4 R350花壇整備 事業	350同友会	353	317	36	地域住民から楽しんで歩いていただくことで、周辺地域の環境美化活動と地域住民の健康を促進するため、国道350号沿線の花壇の植栽や草取りを行い、花壇を美しく整備した。	有田区	都市整備課	126～127
	5 保倉地区環境美 化事業	保倉まちづくり 振興会	229	205	24	保倉地域の環境美化や住民同士の交流を推進し、地域の活性化を図るため、保倉地区町内会、保倉小学校、保倉保育園、保倉地区公民館等の花壇や公園等に住民が花苗3,200本を植栽し、各町内会等で水やり、草取りを行った。	保倉区	都市整備課	126～127
	6 頸城線植栽モデ ル事業	くびき花の会	1,214	1,080	134	区内を花いっぱいにする活動を通じて、住環境の整備やコミュニティの醸成を図るため、5月13日から6月10日にかけて頸城線、高速道路側道交差点近くの植樹帯40mの間にモデル的に花木の植栽を行った。	頸城区	都市整備課	126～127
	7 青田川桜並木整 備と環境啓発事 業	青田川を愛する 会	872	688	184	青田川の保存と景観づくりを通じて、河川愛護の意識を啓発し、青田川の歴史を次世代へ伝承するため、桜並木の枝払い、施肥等を行ったほか、8月2日に青田川灯りロードを開催した。また、環境啓発ポスターや青田川案内マップを作成し、流域町内会等へ配布・掲示や、流域小学校の河川学習の資料、市民散策用として活用した。	高田区	河川海岸砂防課	290～291
	8 五智公園の環境 保全、有効活用 事業	五智公園を育て る会	103	92	11	五智公園の価値や魅力を一層高めていくことを目的に、公園の植生の改善及び希少植物の保護、紹介パネルの展示、リーフレットの配布等を行った。	直江津区	都市整備課	294～297
	9 地域活性化のた めの空き家利活 用推進事業	かきざき空き家 利活用協議会	2,617	1,814	803	柿崎区内における空き家の利活用を進め、柿崎区内への移住・定住を促進するとともに、地域の活性化と生活環境を維持するため、ホームページへの物件登録を行うとともに、7月12日から9月21日にかけて、クラウドファンディングを実施したことにより、ホームページへのアクセス件数が増加した。	柿崎区	建築住宅課	298～301
	10 中郷区空き家相 談窓口設置事業	市（提案団体： 一般社団法人 中郷区さとまる 学校）	175	175	—	放置空き家や危険空き家の増加を予防するため、一般社団法人中郷区さとまる学校（総合事務所2階）に、1級空き家管理士及び空き家相談士の専門家が相談にのる窓口を常設した。また、受託団体の自主事業として、2月24日に空き家セミナーを開催した。	中郷区	建築住宅課	298～301
計 18件			12,390	9,722	2,668				

文教経済常任委員会

教育委員会

1	直江津東中学校 区小・中学生 キャリア教育支 援事業	直江津東地域学 園運営協議会	5,691	5,121	570	直江津東中学校区における小・中学生の自立や若手リーダーの育成等を地域全体で支援するため、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、小・中学生が地域の先輩等から学ぶ機会を設けたほか、立志式等の行事を開催した。	有田区 保倉区 北諏訪区	学校教育課	314～315
4	すわっ子わくわ く事業	すわっ子クラブ	406	365	41	子どもたちの健全育成や住民の郷土愛の醸成を図るため、学校の長期休業期間を始め、年間を通じて、二貴寺の森で野外活動を5回実施したほか、諏訪地区公民館等で各種体験教室を10回実施した。	諏訪区	社会教育課	332～333
5	上雲寺小学校児 童の地域お宝発 見・地域住民ふ れあい事業	上雲寺小学校後 援会	154	136	18	児童目線で地域のお宝を発見し、地域への愛着を育むため、4月から12月にかけて写真の収集や原稿作成を行い、地域カレンダーを作成し、2月に保護者と町内会へ配布した。	津有区	社会教育課	332～333
6	青少年健全育成 体験事業	特定非営利活動 法人 牧振興会	469	405	64	達成感や経験などの学びと成長の場を提供するため、5月から2月にかけて花壇の整備、デイキャンプ、雪まきなど子どもたちが普段できないイベントを3回開催した。	牧区	社会教育課	332～333
7	第8回手しごと・ 手づくり柿崎・ 上越作品展	手しごと・手づ くり柿崎・上越 作品展実行委員 会	488	389	99	ものづくり文化の伝承と世代間交流を促進するとともに、いきいきと健康に暮らせる地域社会の構築を図るため、浄善寺を会場に10月3日から5日にかけての3日間、作品展を開催し、作品を鑑賞してもらうとともに、「苔玉づくり」、「ポーセラーツ」、「紙バンドづくり」体験を実施した。	柿崎区	社会教育課	332～333

常任委員 会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
8	「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業	牧文化協会	97	87	10	生涯学び続けることの楽しさを伝え、文化活動参加者や鑑賞者の裾野を広げるため、6月28日、29日に牧文化協会主催による「夢まつり」を牧コミュニティプラザ、牧体育館で開催した。	牧区	社会教育課	334～335
9	スターフェスティバル2025及び天文教育普及事業	天文指導協力委員会	1,180	1,050	130	郷土愛の醸成と交流人口の拡大を図るため、8月13日から15日にかけて上越清里星のふるさと館にて「スターフェスティバル2025」を開催し、天文講演会を始め、プラネタリウムに星空を投影した中でのヴァイオリンコンサートを行ったほか、天文工作教室などを開催した。	清里区	社会教育課	334～335
10	第42回上越美術協会展及び会場における音楽会とまちなか美術館開催事業	上越美術協会	283	233	50	芸術・文化の振興及び高田市街地の活性化を図るため、8月14日から17日にかけて、ミューゼ雪小町において、「第42回上越美術協会展」を開催し、最終日には同会場内で音楽会を開催した。また、会期後の9月1日から30日にかけて、本町商店街の店舗等に希望の作品25点を貸し出し、回遊美術館を開催した。	高田区	小林古径記念美術館	348～349
11	文化と文化施設を使った交流促進事業	ミュージアムファンクラブ	—	—	—	団体の都合により、事業中止	高田区	小林古径記念美術館	—
12	滝寺毘沙門堂奉納額解析による地域の宝広報事業	滝寺歴史保存会	525	472	53	江戸時代に滝寺毘沙門堂に奉納された発句額の適切な管理と継承を図り、地域の歴史や文化を発信するため、発句額のレプリカを制作して展示し、俳句専門家を講師に迎え奉納発句額の解析発表会を行った。	金谷区	文化行政課	350～351
13	「金谷山とレルヒ」心かよわせた仲間たち～金谷山と周辺の歴史～事業	金谷山の歴史を発信する会	1,023	823	200	金谷山の歴史文化の顕彰や、地域活性化のため、レルヒ少佐や金谷山周辺の歴史、史跡などをまとめた冊子を作成し、関係機関や町内会へ配布したり出版記念報告会を開催したりするなど、地域住民が理解を深め魅力を発信した。	金谷区	文化行政課	350～351
14	郷土芸能無形文化財「春駒」の伝承事業	三郷まちづくり振興会	119	106	13	三郷区の郷土芸能無形文化財「春駒」を伝承するため、民謡語り教室を6回開催したほか、夏祭りなどで3回発表し地域住民の関心を高めた。	三郷区	文化行政課	350～351
15	三郷地区の歴史・史跡を研究する事業	三郷地区の歴史・史跡を研究する会	115	103	12	地域住民の歴史・史跡に関する意識の高揚を図り、歴史資源をいかした地域づくりにつなげるため、越後国分寺推定地と伝えられる場所の地中探査を11月に行ったほか、ジオラマ制作や講演会を実施した。	三郷区	文化行政課	350～351
16	今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業	上越妙高駅と共に歩む会	155	139	16	地域の宝である今泉城跡の大ケヤキを保護・活用し、地域住民の意識高揚、誇りや一体感の醸成を図るとともに、にぎわいや交流の促進に寄与するため、5月から11月にかけて大和神社境内の木陰に鑑賞・休憩施設並びに大ケヤキの周辺12か所にのぼり旗を設置したほか、6月1日と8月24日に清掃・美化活動を行った。	和田区	文化行政課	350～351
17	令和7年度 稲谷【だんとうの大杉】保存事業	稲谷【だんとうの大杉】保存会	539	484	55	歴史継承の大切さを学ぶとともに住民間の交流を図るため、4月、6月、11月に美化活動や保存活動を行った。また、6月には市ホームページ「地域の宝」の当該情報を更新し広く発信したほか、11月9日には、地域住民を対象に作業の報告と今後の保存活動について勉強会を行った。	高士区	文化行政課	350～351
18	城ヶ峰砦・長浜砦の景観保全事業	谷浜地域づくり協議会	301	265	36	谷浜地域の歴史遺産、観光資源として城ヶ峰砦・長浜砦を継承・PRするため、4月から10月にかけて地域のボランティアを募りながら、両砦周辺の散策道整備や草刈り等を行った。また、4月6日、4月12日、7月5日、7月12日、11月16日にウォーキング、8月23日に狼煙上げを実施した。	谷浜・桑取区	文化行政課	350～351
19	里神楽伝承による地域の元氣創造事業	桑谷里神楽伝承会	337	303	34	地域の伝統芸能である桑谷地区の里神楽を継承するため、子ども里神楽練習会を5回、小学校の総合学習での練習を10回実施したほか、伝承用資料を作成した。また、9月27日の月満夜の里神楽では、大人の演者と同じ舞台上で子どもが舞を披露した。	谷浜・桑取区	文化行政課	350～351
20	谷浜・桑取地区地域の宝「古道の歴史・地域にわたる昔語り」伝承事業	特定非営利活動法人 かみえちご山里ファン倶楽部	403	282	121	地域への愛着と誇りの醸成及び関係人口増加を図るため、既存記録の読み込みや情報収集、高齢者サロンにおける聞き取り調査等を進め、冊子の原稿素案を整え、地域内の古道の歴史、昔語りを冊子にまとめる活動や小・中学生を交えた学習会を実施した。	谷浜・桑取区	文化行政課	350～351

常任委員 会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
21	宮口古墳公園・遊歩道維持管理事業	市（提案団体：宮口古墳花の会）	388	388	—	宮口古墳群や資料館への誘客を促進するとともに、幅広い世代へ憩いの場としての公園活用により交流人口の拡大を図るため、花壇での花植えを中心に美化活動を実施するとともに、遊歩道の整備を実施した。	牧区	文化行政課	350～351
22	猿毛城址登山道保存事業	柿崎観光協会	504	453	51	地域住民が地区の歴史・観光資源を再認識するとともに、環境整備・保存の意識を高めるため、7月と10月の2回、登山道や山頂広場の雑木伐採を行うとともに、案内看板を設置したほか、かきさき歴史講演会を開催し、領主・柿崎景家について学びを深めることができた。	柿崎区	文化行政課	350～351
23	九戸浜のお宝発掘事業 鶴の浜温泉紹介冊子編	九戸浜町内会	240	216	24	鶴の浜温泉に対する地元住民及び市民の愛着を醸成するため、鶴の浜温泉誕生の経緯をまとめ、資料収集等を行い、研究成果の発表を行った。	大潟区	文化行政課	350～351
24	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	988	868	120	長峰城の歴史や役割、城づくりの特徴等について理解を深めることができるようにするとともに、魅力向上を図るため、5月18日と11月24日に大胡城・長岡城関係団体との交流、8月10日に長峰城見学会を開催し、講師の話を聞きながら堀や土塁などを巡るとともに、5月3日から見学コースの整備、3月22日に雪割草見学会を実施した。	吉川区	文化行政課	350～351
25	『吉川区と上杉家の繋がり』大乗寺の歴史伝承事業	大乗寺町内会（提案団体：吉川区地域協議会）	537	480	57	吉川区大乗寺に伝わる歴史伝承とともに吉川区内に訪れる人の増加を図るため、6月29日と8月31日に吉川区と上杉家の繋がりをテーマとする学習会、11月9日に春日山と吉川区、柿崎区の謙信公ゆかりの地を巡る現地学習会を実施したほか、特産品（菓子）の原材料のかぼちゃの生産・販売を行った。	吉川区	文化行政課	350～351
26	「縄文の郷 中郷」の具現化事業	縄文学校、市（提案団体：縄文学校）	488	408	80	縄文土器が多数出土している地域文化をいかすため、6月から11月にかけて堅穴式住居の復元作業を計6回行った。6月29日に津南町の「なじょもん」を視察し、各種取組を学んだ。また、7月から3月にかけて縄文講座を計8回開催したほか、「なかごう夏まつり」や「こ食解消で健康な身体づくり事業」へ縄文体験コーナーを設置した。	中郷区	文化行政課	350～351
27	春日山城跡保存事業	春日山城跡保存整備促進協議会	1,067	937	130	春日山城跡の保存等を通じ来訪者の増加を図り、地域之宝として次世代へ継承するため、保全活動として、春の大掃除、3回の草刈り、春日小学校の4年生120人による松葉かきの支援を行った。また、6月29日に探訪会、11月15日に講演会を開催したほか、地元の中学生等35人の協力で本丸など6か所にベンチを10台設置した。	春日区	文化行政課	350～353
28	中高生アスリートのサポート事業	特定非営利活動法人 上越スポーツラボDEW	272	190	82	中高生アスリートが安心して競技を継続できるよう、実技以外の側面から支援するため、栄養指導やメンタルサポート、ケガの予防等に関する講座を9回開催したほか、特別講師を招いたセミナー・ワークショップを開催した。	高田区	スポーツ推進課	356～357
29	三郷地区健康ウォーク事業	三郷体育振興会	153	137	16	三郷区の世代間交流と健康増進を図るため、10月26日に「秋の健康ウォーキング」を開催した。	三郷区	スポーツ推進課	358～359
30	高士地区ニュースポーツ普及事業	総合型地域スポーツクラブ 高士地区体育協会	246	216	30	誰でも気軽に参加できるニュースポーツを通じて、地域住民の体力の維持・向上や地域行事への参加促進を図るため、3月8日にポッチャ大会を開催した。	高士区	スポーツ推進課	358～359
31	高士地区・高士小学校体育大会事業	総合型地域スポーツクラブ 高士地区体育協会（提案団体：高士地区振興協議会）	63	51	12	スポーツを通じて地域住民の交流と体力の維持・向上を図るため、5月24日に子どもから高齢者までの住民が一堂に会し、高士地区と高士小学校の合同体育大会を開催した。	高士区	スポーツ推進課	358～359
32	八千浦地区活性化・健康増進事業 「ニュースポーツDAY」	八千浦地区明るい町づくり協議会	1,126	778	348	地域住民の世代を超えた交流と健康増進を図るため、大人（高齢者）から子どもまで楽しめるニュースポーツの大会「ニュースポーツDAY」を6月15日、9月28日、10月26日、12月7日の4回開催し、延べ333人が参加した。	八千浦区	スポーツ推進課	358～359
33	うらスポマラソン大会事業	特定非営利活動法人 うらがわらスポーツクラブ	1,216	325	891	青少年の健全育成や市民の健康増進につなげる場とするため、参加ランナー、スタッフ、沿道でのボランティアなど、関わる住民がそれぞれ体力づくりや地域力の向上を意識づける機会として、6月15日に「うらスポマラソン大会」を開催した。	浦川原区	スポーツ推進課	358～359

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	34 「テニスのまち柿崎」スポーツ交流促進事業	柿崎テニスクラブ	261	87	174	交流人口の増加を図るとともに、「テニスのまち柿崎」の歴史を次世代につなぐ人材を育成するため、10月12日、13日に第2回柿崎オープンテニス大会を開催し、地域間や世代間の交流を図るとともに、テニス講習会を開催したほか、柿崎庭球クラブ100年のあゆみと小松雄吉氏を紹介したリーフレットを作成し、大会参加者に配付した。	柿崎区	スポーツ推進課	358～359
	35 光ヶ原高原ヒルクライム	光ヶ原高原ヒルクライム実行委員会	2,455	1,464	991	自転車を活用したスポーツ振興や健康増進、交流人口の拡大を図るため、9月27日に標高950mの光ヶ原高原の地形を生かしたヒルクライム大会を実施した。	板倉区	スポーツ推進課	358～359
	36 廃校を活用した交流の場創出事業	板倉区中山間地域農業振興会	1,290	903	387	市外からの交流人口の増加と地域活性化につなげるため、廃校となった旧山部小学校体育館に整備したスポーツクライミング施設を活用して、未経験者向け体験会や国スポ新潟県予選会会場を始めとする各種大会会場としての誘致を実施した。	板倉区	スポーツ推進課	358～359
	37 名立バスケットボール支援事業	新名立青年会	148	103	45	競技者増加や健康増進、子どもたちにスポーツの楽しさを伝えることを目的に、11月15日に名立カップを開催したほか、年間を通し体験会を4回開催した。	名立区	スポーツ推進課	358～359
産業部									
	1 さんわ桜の陣事業	さんわ桜の陣実行委員会	1,260	925	335	三和区が誇る「桜と食」の魅力発信と地域経済の好循環創出を目的に、「さんわ桜の陣2025」を開催した。情報媒体の活用により区内外から多くの来場者を集め、ステージイベントや展示、出店が好評を博した。	三和区	産業政策課	264～265
	2 「高田本町商店街～絵看板のあるまち～」ブランド力強化と発信事業	高田本町百年商店街実行委員会	785	549	236	歴史ある高田本町商店街のブランド化と商店街の活性化を図るため、市内学生が絵看板3基を新たに制作し、11月15日に新絵看板の完成発表・PRイベント「祝絵看板完成「顔見せだよ 全員集合」」を開催したほか、2月7日から3月8日にかけて絵看板PRイベント「冬の絵看板まつり」を開催した。	高田区	産業政策課	266～267
	3 交流と賑わいによる「みなとまちづくり」事業	直江津港周辺活性化協議会	1,475	1,117	358	直江津港を拠点としたまちの活性化を図るため、佐渡汽船ターミナルを会場として、8月9日に直江津港盆踊り大会、1月18日に寒ぶりまつりを実施した。	直江津区	産業立地課	292～293
文化観光部									
	1 風鈴街道 in 雁木2025開催事業	越後高田・雁木ねっとわーく	243	206	37	歴史的文化遺産としての雁木の認識を普及し、雁木の景観を後世に残していく機運を醸成するため、8月1日から16日にかけて、区内28町内の雁木の軒先に風鈴を掲出するとともに、お休み処を開設したほか、雁木の魅力発見写真コンテストを行い、応募作品を2月28日から2日間、市民プラザで展示した。	高田区	文化振興課	130～131
	2 高田世界館と高田の雁木町家PR事業	特定非営利活動法人 街なか映画館再生委員会	359	323	36	高田小町界隈の交流人口の増加、街なか散策の促進を図るため、雁木と町家のパネル40枚を作成し、3月25日から2日間、高田まちかど交流館でパネル展を開催するとともに、高田小町及び高田世界館周辺を高田市内観光の拠点と位置づけ、見どころを解説した「高田小町界隈散策ガイド」を増刷し配布した。	高田区	文化振興課	130～131
	3 地域資源を活かした高田まちづくり事業	特定非営利活動法人 街なみFocus	864	674	190	雁木町家の景観保全、交流人口の増加、歴史文化の保全等を推進するため、雁木通りに面した窓や室外機への格子の取り付け等を行ったほか、チラシやパンフレット、のぼり旗を作成し、地域の祭などでの景観保全のPRを行った。また、意識啓発のため、地域住民も参加し、干し柿、切り干し大根づくりを行った。	高田区	文化振興課	130～131
	4 「頸城の名建築 白田邸 建築講座&見学会」事業	上越の歴史的建造物と景観を守る会	256	175	81	地域の大切な宝である白田邸を活用し、地域への愛着の醸成や交流人口の拡大を図るため、6月22日、10月26日に歴史的建造物に関する講座と白田邸の建築見学会を行った。	頸城区	文化振興課	130～131
	5 高田の歴史文化を題材にした紙芝居の制作と朗読会開催事業	朗読グループ涼	215	150	65	地域に伝わる民話や歴史、文化を伝承し地域の魅力の再発見につなげるとともに、地域への愛着を育むため、高田区の歴史や文化を題材にした紙芝居3作品のシナリオと絵を再構成の上、デジタルデータを制作し、6会場で7回の朗読会を開催した。	高田区	文化振興課	130～133

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
6	北部地区の文化・賑わいを創出する事業	高田区北部振興会	598	470	128	芸術・文化に対する地域住民の意識を高め、高田区北部地域の活性化及びコミュニティづくりに寄与するため、11月2日から28日にかけて陀羅尼八幡神社において、紅葉まつりを開催し、紅葉のライトアップによる景観を創出するとともに、地域の演奏家による野外演奏会を開催した。	高田区	文化振興課	130～133
7	第4回にいがた水墨画フェスティバル開催事業	にいがた水墨画フェスティバル実行委員会	789	592	197	水墨画を通じた文化の振興を図るとともに、高田区のにぎわいに寄与するため、県内の水墨画愛好家や小・中学校等から出展を募り、3月27日から30日にかけて、ミューゼ雪小町において、「第4回にいがた水墨画フェスティバル」を開催した。	高田区	文化振興課	130～133
8	お馬出しプロジェクト事業	お馬出しプロジェクト	357	285	72	城下町高田の魅力を県内外に発信するとともに、地域住民に歴史を伝承するため、高田城下・時代絵巻練り歩きを4月6日に観覧会会場まで行ったほか、10月24日に武蔵野酒造「楽酔亭」にて地域の有識者を招いた講演会を開催し、2月7日には高田まちかど交流館にてコンサートを開催した。	高田区	文化振興課	130～133
9	高田瞽女の文化の発信事業	特定非営利活動法人 高田瞽女の文化を保存・発信する会	795	615	180	高田瞽女の文化を全国に発信し、高田区の交流人口の増加及び通年観光に寄与するため、4月にお話会、5月に天林寺にて妙音講と瞽女唄演奏会、6月にバスター、10月と11月に瞽女ミュージアム高田開館10周年記念特別講演会、2月に高田瞽女の門付け再現と瞽女唄演奏会を行ったほか、記念標柱の設置や瞽女映像の英語字幕付けを行った。	高田区	文化振興課	130～133
10	芳澤謙吉翁顕彰事業	芳澤謙吉翁顕彰会	132	118	14	芳澤謙吉翁の功績や生き方に対する地域住民の関心と理解を深めるため、10月25日に諏訪地区公民館で講演会、公園内の米南荘で茶会を開催したほか、11月19日と26日に芳澤記念館で学習会を開催した。また、公園の景観保持のため、年3回清掃等を実施した。	諏訪区	文化振興課	130～133
11	戸野目・四ヶ所雁木通り活性化支援事業	戸野目・四ヶ所雁木通り活性化協議会	323	290	33	戸野目・四ヶ所雁木通り地域の資源をいかして人が集まりたい場所と機会を作るため、5月から12月にかけて、保阪邸庭園周辺で環境学習や植栽活動を7回実施した。	津有区	文化振興課	130～133
12	前島密翁生誕の地献碑祭103周年事業	前島密翁生誕の地献碑祭実行委員会	667	585	82	前島密翁の偉業を称え、住民の郷土愛を醸成するため、7月1日に前島記念館で第103回前島密翁生誕の地献碑祭を開催した。また、8月9日に「前島密サミット in 上越」を開催し、パネルディスカッションを行うとともに、その様子を動画で配信した。	津有区	文化振興課	130～133
13	前島密を主題とした創作劇開催事業	前島密翁顕彰事業実行委員会	484	280	204	地元の偉人を通じて地域の良さを再発見し、地域活性化につなげるため、前島密翁が辿った足跡や果たした功績を題材に劇を創作し、9月25日に雄志中学校で生徒と地域住民等に披露した。	津有区	文化振興課	130～133
14	第16回蒲川原和太鼓祭事業	特定非営利活動法人 倉倉川太鼓	915	799	116	日本古来の和太鼓を通じ、日本の伝統文化と和の心を蒲川原区から発信し、当該地区を人と地域が元氣なまちとするため、10月11日に第16回蒲川原和太鼓祭を開催した。	蒲川原区	文化振興課	130～133
15	川上山里の風コンサート事業	川上地区協議会	991	788	203	地域の活力維持と郷土愛を育むため、地域の宝物として維持管理している川上会館（旧川上小学校木造体育館、国登録有形文化財）を活用し、「川上山里の風コンサート」を10月18日に開催した。	牧区	文化振興課	130～133
16	3世代交流事業 人魚の塚継承	雁子浜町内会	1,291	1,162	129	大潟区に伝わる「人魚伝説」及び小川未明文学への地元住民や来訪者の関心を高め、世代間交流を図るため、人魚塚の整備を実施するとともに、10月19日に小川未明ゆかりの地文学散歩を開催した。	大潟区	文化振興課	130～133
17	地域に残る伝説の紙芝居作成事業	寺野玉手箱グループ	328	295	33	板倉区の歴史・文化の継承や、地域の連帯感の醸成を図るため、板倉区に残る伝説を題材とした紙芝居として、「山寺薬師」「片葉の章」の2作品を地元の板倉小学校、豊原小学校児童から色塗りに協力してもらい作成した。また、完成した紙芝居を各小学校と4地域で上演し、延べ150人以上が参加した。	板倉区	文化振興課	130～133
18	板倉の文化語り部継承とアーカイブ事業	いたくら文化研究会	528	366	162	板倉区の有恒学舎を設立した増村朴斎氏の偉業や歴史的背景を後世に残すような語り部を養成し、文化の記録保存を行うため、小林正之氏（有恒高校同窓会会長）を講師に迎え、「増村朴斎と有恒学舎」と題した講演会を開催したほか、講演を撮影、編集し、YouTubeにアップするとともに、講演記録冊子を作成し配布した。	板倉区	文化振興課	130～133

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
19	坂口記念館の特色を活かした事業	市（提案団体：特定非営利活動法人 くびき来夢ネット）	105	105	—	坂口記念館の魅力を発信し、交流人口の拡大を図るため、坂口記念館で発酵を広める講座として、6月14日に発酵講座、9月19日に三五八づくり体験、12月12日にさかきん発酵鍋づくりを行った。	頸城区	文化振興課	132～133
20	花の苗里親育成事業	市（提案団体：特定非営利活動法人 くびき来夢ネット）	224	224	—	区内を花いっぱいにする活動を通じて、住環境の整備やコミュニティの醸成を図るため、坂口記念館を会場に6月11日、10月15日に挿し木講習会を実施した。また、挿し木で頸城区推奨の花を増やすため、希望する町内会などに坂口記念館で増やした苗木の配布を行った。	頸城区	文化振興課	132～133
21	「雪まつり（キャンドルイベント）」開催による地域交流・地域活性化事業	高士地区雪まつり実行委員会	2,698	2,427	271	地域の魅力を発信し、知名度を上げるとともに、住民の団結力を高めるため、2月21日に岩の原葡萄園と高士地区多目的研修センターで高士地区雪まつり（高士ルミネ）を開催した。	高士区	観光推進課	268～269
22	谷浜・桑取のガイドマップ作成事業	谷浜地域づくり協議会	70	62	8	谷浜・桑取区への来訪者を始め多くの方々に分かりやすく見どころをPRするため、ガイドマップを1,000部増刷し区内外に配布したほか、ガイドマップに掲載されている場所を巡る「ガイドマップ巡り」を11月9日に実施した。	谷浜・桑取区	観光推進課	268～269
23	山のうえの雪まつり事業	山のうえの雪まつり実行委員会	2,927	1,287	1,640	交流人口の増加と地域の活性化を図るため、2月28日の「灯の回廊」及び「安塚キャンドル・ロード」に合わせて、キュービットパレイスキー場において雪上花火やゲレンデ逆走！宝探しを始めとした雪上イベントを開催した。	安塚区	観光推進課	268～269
24	山のうえ真夏の雪まつり事業	山のうえの雪まつり実行委員会	1,276	893	383	交流人口の増加を目指して、スキー場の閑散期である真夏の8月16日に、雪室の雪を活用した雪山の創出を始め、アウトドア体験、各種アトラクション、緑日・移動販売車の出店などを内容とするイベントを開催した。	安塚区	観光推進課	268～269
25	安塚リバーサイド「小さな桜まつり」	特定非営利活動法人 NPO雪のふるさと安塚	1,565	1,095	470	交流人口の拡大と地域の活気づくりの機会とするため、桜まつりを開催し、沿線の町内会の協力の下、板尾公園特設会場での観桜会イベントや安塚コミュニティプラザで開催した桜の写真展などにより、安塚区を訪れるきっかけづくりに結び付けた。	安塚区	観光推進課	268～269
26	うらがわら雪あかりフェスタ事業	うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会	798	658	140	区内における交流と区外からの誘客を進め、雪と親しみながら地域活力の向上を図るため、2月28日に開催された灯の回廊の一環として、「うらがわら雪あかりフェスタ」を開催するとともに、その見どころや茶屋など、来場者に楽しんでいただけるポイントやシャトルバスの運行ルートに掲載したおでかけマップや誘導看板を作成した。	蒲川原区	観光推進課	268～269
27	地域の宝を活かした「薬師 Re:Project」地域活性化事業	細越平生会	481	433	48	交流・関係人口の更なる拡大を図るため、「薬師山道」の整備を5月から11月にかけて実施した。また、9月から10月にかけては「ブナの森美術館」、10月4日に「薬師CAFÉ」、3月7日に「ユキノアカリ」を開催し、合計約580人の来場者に楽しんでもらうことができた。	大島区	観光推進課	268～269
28	地域の活性化促進事業（まき深山のともしび）	牧区地区協議会連絡会議	919	827	92	にぎわいを創出するとともに地域の魅力を発信し、区内外に交流の輪を広げるため、2月21日に冬の一大イベントである灯の回廊に参画し、牧区全体の手作りイベント「まき深山のともしび」を開催した。	牧区	観光推進課	268～269
29	ジャンボ緑日事業	鶴の浜温泉観光組合	2,020	1,381	639	鶴の浜温泉街のにぎわいの創出と地域住民の活力とするため、7月18日から8月17日にかけての週末3日間及び、9月14日にむかし懐かしい緑日を実施した。	大湯区	観光推進課	268～269
30	鶴の浜温泉色彩音楽花火事業	鶴の浜温泉観光組合	4,463	2,922	1,541	鶴の浜温泉の魅力を市内外に発信し、来訪者数増を図るとともに地域住民の活力に資するため、9月14日に鶴の浜温泉名物である色彩音楽花火やお酒まつりを中心としたイベントを開催した。	大湯区	観光推進課	268～269
31	大池の四季散策と親子イベント体験事業	特定非営利活動法人 頸城区観光協会	411	328	83	大池・小池の魅力をいかし、交流人口の拡大を図るため、四季を通じて身近な大池の自然を体験する散策ツアーを年4回、大池いこいの森ビジターセンターを利用した親子イベントを5回実施するとともに、散策ツアーの実施に向けた散策道の維持管理を行った。	頸城区	観光推進課	268～269

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	32 吉川観光重点2地区活性化推進事業	吉川観光協会	3,100	2,790	310	吉川区を代表する地域資源である尾神岳エリアとよしかわ道の駅エリアの活性化を図るため、8月11日にサマーフェスティバル、9月27日に尾神そば早食い選手権、11月8日に天岩戸尾神岳伝説記念事業として現地見学会と講演会、11月15日に尾神岳山頂でトレッキングの各イベントを実施したほか、道の駅情報コーナーの充実を図った。	吉川区	観光推進課	268～269
	33 灯火のイベント事業	三和の自然と地域を育む会	455	405	50	地域のつながりの深化と来訪者との交流人口拡大を目的に、雪灯籠やLED灯籠による灯火イベントを開催した。多雪をいかし雪の滑り台やかまくらを新設するとともに、小・中学生が和紙に絵を描いたLED灯の演出を行い、参加型の催しとして好評を得た。	三和区	観光推進課	268～269
	34 雪を活かしたまちづくり推進事業	輝く里不動産の会	164	147	17	雪をいかした冬季間のまちづくりを進め、区内の一体感醸成やにぎわいを創出するため、不動産地区を会場として2月21日に不動キャンドルロードを開催した。	名立区	観光推進課	268～269
	35 名立四季の魅力発信推進事業	名立海の学校実行委員会	1,954	1,366	588	名立区の四季の魅力を区内外に広く発信することによる交流人口の増加やイベントを通した担い手の育成を目的に、9月13日、14日にオータムフェスタ、8月から11月にかけて5回、久比岐自転車道のサイクリング体験、3月19日から25日にかけてよもぎPRイベントを行ったほか、官民連携で魅力発信にかかわる会議を2回開催した。	名立区	観光推進課	268～269
	36 沖見地区観光拠点づくり事業	沖見地区協議会	218	195	23	沖見地区の玄関口であるふるさと村自然と憩の森を地域の観光拠点とするため、6月から11月にかけて花の植栽や遊歩道の整備を行った。	牧区	観光施設課	272～273
	37 上杉軍出陣式維持保存事業	一義会	377	338	39	地域住民の参加による出陣式を維持・保存し、地域の魅力向上を図るため、8月25日の謙信公祭で武蔵式を披露したほか、きき酒マラソンなどの各種イベントで甲冑を活用して来訪者をもてなした。	春日区	観光推進課	274～277
	38 山鳥毛・謎解き謙信公の推し刀たち！事業	春日商工振興会	569	512	57	春日山城跡等への来訪機会を創出し、当市の認知度向上や住民の地域への愛着を高めるため、7月19日から11月24日にかけて、上杉謙信公ゆかりの刀剣に関する謎解きクイズラリーを春日山城跡周辺とWebで実施した。	春日区	観光推進課	274～277
	39 謙信公生誕500年に向けた機運醸成事業	特定非営利活動法人 越後まほろば倶楽部	151	70	81	上杉謙信公生誕500年の節目に向け、市民の機運醸成を図り、にぎわいあるまちづくりを推進するため、生誕日に合わせて1月18日に上越文化会館で生誕496年記念講演会を開催した。	春日区	観光推進課	274～277
	40 そば畑おためしオーナー制度事業	特定非営利活動法人 越後まほろば倶楽部	167	102	65	春日山城跡の魅力向上を図り、再来訪を促すため、3か年計画でそば畑のお試しオーナー制度を立ち上げ、ホームページの活用に加え、8月から11月にかけてのそばの試験栽培や11月の試食交流会の機会を活用して制度の周知を図った。	春日区	観光推進課	274～277
	41 上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業	上越妙高駅と共に歩む会	59	52	7	上越妙高駅利用者にとって当地のおもてなしや義の心を届けるとともに、主要イベント等に合わせて、更なるにぎわいと交流の推進を図るため、上越妙高駅自由通路等18か所に通年デザインのものほり旗3種類、加えて観覧会、観覧会の開催時にはPRのものほり旗を30か所に設置したほか、のぼり旗の設置・撤去時には、ゴミ拾い等美化活動を行った。	和田区	観光推進課	274～277
	42 くびき野サイクルロゲイニングin直江津事業	越後輪衆	92	52	40	サイクルツーリストに対する直江津の魅力発信、交流人口の拡大を図るため、サイクリングを通じて地域の歴史・文化を再発見するイベントとしてサイクルロゲイニングを7月5日に開催した。	直江津区	観光推進課	274～277
	43 直江津写真フェア事業	上越写真連盟	395	355	40	直江津の魅力度を再発見・発信するため、「撮って発見 直江津の魅力」をテーマにした写真コンテストを開催するとともに、2月21日から22日にかけて市民プラザにて応募作品の展示を行った。	直江津区	観光推進課	274～277
	44 名立区の魅力創造発信事業	特定非営利活動法人 名立の100年後を創造する会	666	599	67	名立区の魅力度を市内外へ発信するため、名立谷浜IC前の景観整備、宇山を紹介するチラシの発行、謙信公祭に合わせた狼煙上げ、名立地区公民館で3月7日、8日に写真コンテスト及び展示会、10月25日に写真の撮影指導会などを実施した。	名立区	観光推進課	274～277

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
45	坂田池園地桜植替え事業	柿崎観光協会	702	560	142	桜並木の再生と美しい水辺環境を維持し、区内外からの来訪者の増加を図るとともに、子どもたちが自然環境の保全意識を高めるため、11月7日に上下浜小学校児童と桜苗木の植樹、現存樹木への施肥を行い、9月11日に高田城址公園の桜守から管理や手入れ方法の助言を受け、枯損木の伐採や枯枝の剪定、枯木化を予防するための抗菌剤を塗布した。	柿崎区	観光施設課	276～279
46	大池いこいの森施設運営事業	特定非営利活動法人 頸城区観光協会	6,685	4,392	2,293	大池・小池の魅力をいかし交流人口の拡大を図るため、ビジターセンターを拠点にキャンプ場の運営と物品販売等のサービスの提供を行うとともに、休憩所の開放等を行った。	頸城区	観光施設課	276～279
47	大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業	雁金城跡保存会	586	526	60	大池に近接する雁金城跡を活用し、交流人口の拡大を図るため、大池・小池の利用者が雁金城跡に安全に登れるよう大池側からの登山道の整備を行うとともに、8月23日に謙信公祭にあわせた狼煙上げ、10月25日に山城探訪の楽しみとして板倉区にある箕冠城跡に関する歴史講座を実施した。	頸城区	観光施設課	276～279
48	ベースキャンプ in 光ヶ原高原(光ヶ原高原活性化)事業	板倉まちづくり振興会	2,143	1,855	288	交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、6月28日から10月13日にかけて光ヶ原高原キャンプ場を運営するとともに、8月2日には2年ぶりに「光ヶ原高原 高原祭2025」のイベントを開催し、光ヶ原高原の開放的な自然を満喫してもらうことができた。	板倉区	観光施設課	276～279
49	鶴の浜人魚館美化活動事業	人魚館サポーターズクラブ	63	41	22	鶴の浜温泉及び鶴の浜人魚館への地域愛の醸成や利用促進を図るため、鶴の浜人魚館敷地内の草刈りや植栽等の美化活動を年4回実施した。	大潟区	観光施設課	278～279
50	いたくら里山彩花事業	みどりやすらぎグループ	2,940	2,628	312	観光集客・地域活性化を図るため、4月26日から5月18日にかけて「芝桜まつり」、6月14日から7月13日にかけて「アジサイ・七夕まつり」、8月2日から8月17日にかけて「ひまわりまつり」を開催し、区内の有志ボランティアの方や地元中学生による環境美化や植栽作業を実施した。	板倉区	観光施設課	278～279
計 89件			76,825	59,158	17,667				

厚生常任委員会

健康福祉部

1	福祉外出支援事業	特定非営利活動法人 三和区振興会	2,101	826	1,275	障害のある人や介護が必要な高齢者等の外出支援と、介助する家族の負担軽減を目的に、通院や買い物などの送迎サービスを実施した。広報や地域包括支援センター等の紹介により登録者が増加し、家族の負担軽減に加え、高齢者等の外出機会の拡大による介護予防や健康づくりに寄与した。	三和区	福祉課	172～173
2	高齢者安全な暮らし支援事業	ひとふさの会	324	185	139	高齢者が孤独を感じることなく、健康的に暮らせるよう、町内会による見守り活動等のほか、8月から3月にかけてお楽しみ交流会を6回実施した。また、弁当の配食サービスを毎月1回実施し、配達時の声掛けを行った。	高士区	高齢者支援課	176～177
3	有田地区いきいき支援事業	有田福祉の会	1,759	1,581	178	地域全体で支え合う基盤を作り、地域活性化を図るため、65歳以上を対象とした体操講座等を行う高齢者サロンを73回、生後1か月から2歳頃の親子を対象とした、絆づくりを促進する子育てサロンを18回、未就学児の親子を対象とした、親子で楽しめる講座等を5回実施した。	有田区	高齢者支援課	180～181
4	中郷区高齢者いきいき支援事業	中郷区老人クラブ連合会	1,470	832	638	高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりの場を創出するため、6月から3月にかけてクラブ体験、6月13日、10月10日にグラウンドゴルフ大会、10月1日に自立体力検定、6月27日、10月29日にノルディックウォーク体験の4つの取組を実施した。	中郷区	高齢者支援課	180～181
5	名立区いきいきサロン運営事業	名立区いきいきサロン運営協議会	637	338	299	高齢者の閉じこもり防止や健康維持、介護予防に取り組むため、地域住民の自主運営によるいきいきサロン(8地区)と、区域や年齢を限定しないまちなかサロンを年間99回実施したほか、福祉施設職員を講師に、介護、健康に関する研修会を2回行った。	名立区	高齢者支援課	180～181
6	高齢者支援・交流(「買い物ツアー」の実施)事業	三郷まちづくり振興会	172	154	18	高齢者の買い物支援と相互交流を促進するため、7月から3月にかけて、買い物ツアーを3回実施した。	三郷区	高齢者支援課	184～185

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
7	高齢者の生活支援事業	特定非営利活動法人 牧振興会	261	182	79	自ら通院や買い物等の外出が困難な高齢者等が安心して暮らしていけるよう支援するため、高齢者等の外出支援を週2回（牧区内コース1回、牧区外コース1回）、年間で47回実施し、買い物などの際の見守りや荷物の運搬、移動時の介助などの身辺サービス全般を行った。	牧区	高齢者支援課	184～185
	「こ食」解消で健康な身体づくり事業	一般社団法人中郷区さとまる学校	1,225	843	382	こ食に起因する栄養不足や肥満などの生活習慣病のリスクを回避するため、7月24日、30日、8月6日、13日、20日、12月20日の計6回、市保健師による講話や地域に伝わる料理を提供するさとまる食堂に加え、学習時間や体験メニュー等を取り入れた令和の寺子屋、自然体験を実施した。	中郷区	健康づくり推進課	212～215
こども・子育て部									
1	地域であんしんつながり事業	CAP・じょうえつ	220	187	33	子どもたちが地域のつながりの中で安心して過ごせる環境づくりを推進するため、人権啓発やカウンセリング、趣味の講座等を13回開催し、気軽に集まれる居場所づくりをしたほか、あんしんマップの活用や普及や、ポスター・パンフレットを作成し、イベント等で人権啓発活動を行った。	高田区	こども家庭センター	186～187
	三和ふれあい食堂事業	三和ふれあい食堂運営委員会	488	240	248	食を通じて住民の世代間交流を図るため、子どもから高齢者まで地域住民が気軽に集える「三和ふれあい食堂」を年5回開催した。	三和区	こども家庭センター	186～187
3	子どものい〜場所開設事業	市（提案団体：中郷区地域協議会）	799	799	—	子ども同士が気軽に集まり自由な活動ができる場所を提供するため、9月25日、10月27日、11月17日、12月17日、1月22日、2月2日、3月9日の計7回、「子どものい〜場所」を開設し、延べ219人が参加した。	中郷区	こども家庭センター	198～201
	三世代交流フェスティバルと健康づくり交流事業	南三世代交流プラザ運営協議会	749	597	152	世代間交流の推進及び南三世代交流プラザの利用と地域住民の健康福祉を促進するため、9月27日に「三世代ふれあい広場」、12月20日に「三世代ふれあいクリスマスのつどい」を開催したほか、8月2日に南三世代交流プラザ前の雁木通りを歩行者天国にして「三世代交流フェスティバル」を開催した。	高田区	こども家庭センター	200～201
環境部									
1	中山間地域再生可能エネルギー導入推進事業	名立区脱炭素地域づくり研究会	182	117	65	再生可能エネルギーを導入・推進するため、名立川の流量調査結果や水力発電の実効性、また発電の水源地となる森の特徴などについての学習会を6月19日と12月7日に開催したほか、3月1日に福井県今立郡池田町へ先進地視察を行った。	名立区	環境政策課	222～223
	正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業	正善寺紫陽花会	134	120	14	ダム公園としての景観保持と観光振興のため、4月から10月にかけて、正善寺ダム周辺と沿線の紫陽花の維持管理、不法投棄ごみの回収作業及び紫陽花のライトアップ等を実施した。	金谷区	生活環境課	224～225
3	天王川クリーンナップ大作戦事業	直江津プライド2021	286	253	33	環境意識の向上とまちづくり活動の意識醸成を図るため、直江津の重要な水辺空間である天王川内及び天王川沿いの清掃活動を8月3日、11月23日に地域住民全体で行った。	直江津区	生活環境課	224～225
	谷内池の環境保全とオニバス再生プロジェクト事業	三和の自然と地域を育む会	1,964	1,754	210	市指定文化財「谷内池とオニバス」の価値向上と継承を目的に、谷内池及び三和中学校プールでのオニバス繁殖や、草刈り等の環境整備と維持管理を実施した。取組がマスコミに紹介され、三和区内外へ谷内池とオニバスの魅力を広く発信することができた。	三和区	環境政策課	226～227
計 16件			12,771	9,008	3,763				
総務常任委員会									
防災危機管理部									
1	南川地区大規模防災訓練	南川振興会	235	95	140	地域住民と外国人市民が共に指定避難所の開設準備や運営訓練を行い相互理解を深めるとともに、災害時に双方が安全に避難できるようにするため、10月19日に防災訓練を実施した。	頸城区	危機管理課	108～109
	安全に安心して暮らせるまちづくり（春日山町3町合同防犯対策）事業	春日山町防犯パトロール隊	223	200	23	春日山町の3町内会における空き巣等を防止するため、のぼり旗の掲出や、冬期間を除く住民による日中・夜間の防犯パトロール及び子どもの見守り活動を延べ414回実施したほか、高齢者を対象とした特殊詐欺被害防止に関する講演会を実施した。	春日区	市民安全課	108～109

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
総合政策部									
1	名立機雷爆発事件継承事業	市（提案団体：名立の子どもを守り育む会）	60	60	—	名立漁港機雷爆発事件を末永く伝え、平和や戦争について自ら考える機会を提供するため、2月5日から13日にかけてうみてらす名立で名立・平和を願う日パネル展、2月14日から24日にかけて名立地区公民館でミニパネル展を行ったほか、2月14日には第12回名立・平和を願う日関連事業として宝田小、名立中による学習報告会及び追悼歌合唱を行った。	名立区	多文化共生課	104～105
2	小さな地域で始める共生のまちづくり事業	一般社団法人中郷区さとまる学校	1,635	1,311	324	誰もが相互に人格や個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を認め合う地域の実現を図るため、地元小学生のアイデアを形にした共生カレンダーの制作及び区内全戸へ配布した。また、年齢を問わず自分の存在価値を認識するため、共生をテーマにした「共生フェスタ」を12月6日に、「共生ステージ『華響』」を3月22日に開催した。	中郷区	多文化共生課	120～121
3	名立駅マイ・ステーション作戦事業	名立駅マイ・ステーション作戦実行委員会	241	216	25	名立駅の利用促進と地域活性化を図るため、クリーン作戦と題し、10月と12月に計2回ホームや待合室の美化を行ったほか、季節に合わせた作品を掲示した。また、10月5日に駅からウォーキング、12月20日にクリスマスイベント、3月15日にトキ鉄開業11周年イベントを開催した。そのほか、冬期のストーブ設置、たよりの発行を行った。	名立区	交通政策課	120～121
4	高校生通学等支援事業（三和区デマンドタクシーの実証運行）	市	912	912	—	子育て世帯の負担軽減と通学の新たな交通手段のニーズ・有効性検証のため、令和6年度に引き続き、路線バス運行終了時間帯に高田区～三和区間で高校生の通学等を支援するデマンド乗合タクシー（1日3便）の実証運行を実施した。	三和区	交通政策課	120～123
5	外国人市民との交流及びファーマーズマーケット	緑	2,695	1,809	886	地域住民と外国人市民との食を通じた国際交流を深めるとともに、農業の魅力を発信することを目的として、11月1日に国際色あふれる食材や調味料を活用したイベントを実施した。また、4月から10月にかけては、農業体験を通じた地元住民と外国人市民との交流事業を実施した。	頸城区	多文化共生課	136～137
6	誰もが来てよい居場所になるように取り組む交流促進事業	誰でも集える場所。じくの家	403	334	69	地域住民による世代を超えた交流及びつながりの構築・深化を促進するため、毎週金曜日から月曜日の午前10時から午後3時に東本町2丁目のじくの家を会場に、誰でも参加できるお茶の会事業を184日間開催したほか、利用者の要望に応じ、各種講座等を開催した。	高田区	地域政策課	138～141
7	新道地区交流促進事業	新道地区活性化委員会	77	52	25	地域住民の心身の健康増進と地域の一体感を高めるため、5月に色とりどりの花を植栽したプランターを地域の医療機関、保育園、公民館に設置し、11月まで住民が協力して管理を行った。	新道区	地域政策課	138～141
8	稲田むすぶプロジェクト事業	稲田むすぶプロジェクト	3,929	3,499	430	地域のつながりの大切さに気付き、その喜びと達成感を見いだすため、5月と10月に中央橋の花壇に花苗を植える「稲田むすぶ花で架け橋活動」、10月11日に世代間交流イベント「稲田むすぶフェスティバル」を実施した。	新道区	地域政策課	138～141
9	ミニ新聞「まめでやったけえ」発行継続および活用によるさまざまな拡大事業	「まめ」新聞有志会	103	92	11	地域内外における交流促進と生きがいの創出を図るため、地域住民が自ら執筆、編集、頒布まで一連の作業を行い、それぞれの思いや情報を共有するための新聞を5回発行するとともに、交流会を行った。	金谷区	地域政策課	138～141
10	滝寺自然公園環境保全・保護活動事業	滝寺まちづくり協議会	319	287	32	地域の自然環境や歴史文化の維持・保全活動を通じて、住民間の交流を図るため、4月から11月にかけて、ミズバショウ自生地の保護・育成、毘沙門堂周辺及び参道の整備活動等を実施したほか、定期的に活動内容を掲載した会報を発行した。	金谷区	地域政策課	138～141
11	金谷若者まちづくり参画事業	上越若者みらい会議	1,592	1,207	385	金谷区の若い世代の交流促進と地域の観光資源の利用促進のため、4月に金谷山公園フェス、7月と9月に南葉高原キャンプ場でニジマス釣りイベント、6月、8月、10月、12月、3月に福祉交流プラザでフリーマーケットを開催した。	金谷区	地域政策課	138～141

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	12 いきいき春日野ふれあいコンサート事業	いきいき春日野ふれあいコンサート実行委員会	485	436	49	春日区に暮らす人、活躍する人たちを音楽でつなげ、地域の活力向上を図るため、7月6日に「第19回いきいき春日野ふれあいコンサート」を上越文化会館で開催した。	春日区	地域政策課	138～141
	13 そと遊びきぶん事業	そと遊びきぶん実行委員会	2,647	1,846	801	イベントを通じて、子どもたちの地域等に対する気持ちを育み、絆を深めるため、5月24日、25日と9月27日、28日に「そとで過ごす・そとで遊ぶ・皆で楽しむ」をキーワードに、体験ブース等を一堂に集めた野外イベントを開催した。	春日区	地域政策課	138～141
	14 諏訪の里づくり事業	諏訪の里づくり協議会	1,465	1,258	207	地域住民の融和と連帯感の醸成を図るため、諏訪まつり等のイベントや各種教室の開催、ホームページによる地域情報の発信に取り組んだ。また、諏訪小学校の閉校を受け、地域住民が集い、懐かしい資料等を見ながら往時を回想する「思い出カフェ」を開催するとともに、思い出を文集などにまとめた。	諏訪区	地域政策課	138～141
	15 “明日の上越・諏訪を創る会” 未来来すわ事業	未来来すわ	33	29	4	地域の魅力と環境の素晴らしさを広く発信するため、地域の宝であるはさ木ロードや和みの八本桜の保全活動を実施したほか、町内会の協力を得て地域一帯にヒマワリを咲かせた。	諏訪区	地域政策課	138～141
	16 津有地区地域づくり活動事業	津有地区地域づくり協議会	508	401	107	地域コミュニティの活性化を推進するため、10月に食生活改善推進員と連携して健康ウォーク、11月に地域の団体や保育園児と協力して文化祭を実施したほか、3月に広報紙を発行し、当該協議会の活動内容や住民からの寄稿文を発信した。	津有区	地域政策課	138～141
	17 さんごう仲間づくり事業	ENJOY35	14	12	2	地域住民の交流促進と健康の増進を図るため、三郷小学校PTAと連携したニュースポーツ体験や、地域住民が手作り品や不用品を持ち寄りフリーマーケットなどを行った。	三郷区	地域政策課	138～141
	18 三郷の熱い夏をみんなで楽しもう事業	三郷夏祭り実行委員会	2,762	2,483	279	三郷区の世代間交流と地域活性化を図るため、8月2日にゲームコーナーや屋台の設置、ミニライブ、芸能発表、花火を行う夏祭りを開催した。	三郷区	地域政策課	138～141
	19 ふるさと高士まつり事業	高士地区振興協議会	568	400	168	地域のにぎわいを創出し、まちづくりや活性化を図るため、8月17日に高士小学校で子どもから高齢者まで多くの住民が一堂に会して交流する「ふるさと高士まつり」を開催した。	高士区	地域政策課	138～141
	20 地区だより「たかし」発行事業	高士地区振興協議会	272	241	31	住民の地域活動への関心を高めるため、地域の各種団体からも編集委員として参画してもらい、毎月25日に地区広報紙を500部発行し、各団体の様々な活動内容を一元的に発信した。	高士区	地域政策課	138～141
	21 福永十三郎顕彰・四十物祭事業	まちおこし直江津	578	519	59	直江津の歴史的な偉人「福永十三郎翁」の遺徳を偲ぶとともにまちへの集客と活性化の一助とするため、四十物祭を11月9日に実施し、福永十三郎翁の商権復活の尽力や、当時の直江津の歴史と多彩な食文化を来場者と共有した。	直江津区	地域政策課	138～141
	22 直江津のグランドデザインを描く事業	直江津プライド2021	390	351	39	自分たちのまちを自分たちの手で良くしていくことで躍動する直江津を創っていくため、市民参加で検討した三八朝市の活性化策「出店者の似顔絵づくり」と「三八マルシェ」を実施した。	直江津区	地域政策課	138～141
	23 八千浦地区活性化・青少年育成事業「八千浦地区海まつり」	海まつり実行委員会（提案団体：八千浦地区明るい町づくり協議会）	1,019	917	102	地域住民の融和や将来を担う次世代の郷土愛の醸成と協働の精神を培うため、八千浦区の地域資源である海に親しむ海まつりを9月6日に開催した。	八千浦区	地域政策課	138～141
	24 八千浦地区活性化・青少年育成事業「やちほ文化展・はまぐみ市」	八千浦地区明るい町づくり協議会	106	92	14	地域住民の交流やにぎわいの創出を図るため、住民の創作活動の発表と地域文化の再発見を目指す「やちほ文化展」を11月1日、2日に開催した。併せて地域産品等のPRを行う「はまぐみ市」を11月1日に開催した。	八千浦区	地域政策課	138～141

常任委員 会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	25 保倉地区早朝ラジオ体操事業	保倉まちづくり振興会	24	21	3	保倉区の一体感の醸成を図るため、年齢や性別、体力に関係なく多くの人が参加できる早朝ラジオ体操を8月3日に実施し、地域住民が顔を合わせる機会となり、地域内でお互いを見守る機運が高められた。	保倉区	地域政策課	138～141
	26 「保倉歩こう会」～楽しく歩こう、保倉を知ろう～	保倉まちづくり振興会（提案団体：保倉区地域協議会）	122	75	47	保倉区の一体感や地域への愛着を高めるため、住民が顔を合わせ楽しみながら歩き、区内の自然や歴史、施設などを知る「保倉歩こう会」を10月11日に計画したが、雨天により屋内でミニ運動会を実施した。	保倉区	地域政策課	138～141
	27 地域コミュニティ活性化事業	北諏訪まちづくり振興会	237	213	24	北諏訪地域の活性化や地域住民の交流・親睦を図るため、29回目となる「まつりっちな北諏訪」を10月18日に実施し、チアダンス等のステージイベントに加え、子どもたちから高齢者まで区全体で協力して作成したランタンを灯す催し等を行った。	北諏訪区	地域政策課	138～141
	28 北諏訪区地域の魅力PR事業	北諏訪まちづくり振興会	160	136	24	北諏訪区の魅力となる歴史・文化・スポーツ行事などの情報を広く周知するため、北諏訪だよりを年3回発行した。	北諏訪区	地域政策課	138～141
	29 あげ道ほたる・夢灯りinほたるの里事業	大島地区振興協議会	628	513	115	地域住民が主体的に関わり、交流する機会を創出することにより、地域コミュニティの活性化及び関係人口の増加につなげるため、6月14日に「あげ道ほたる・夢灯り」及び「自然よ輝け、ほたるの光で」音楽ライブを開催した結果、約350人の来場者にろうそくの幻想的な風景と音楽を楽しんでもらうことができた。	大島区	地域政策課	138～141
	30 大島区魅力発見・PR事業	大島まちづくり振興会	294	264	30	大島区の郷土愛の醸成及び交流人口の拡大と認知度アップを目指し、ご当地キャラクター「おーちゃん」を活用し、6月、10月、11月に開催された区内イベントでPR活動を実施するとともに、キーホルダーなどのPRグッズの作成に取り組んだほか、フォトコンテストを開催し、応募作品を駅や区内事業所、ホームページ等で展示・発信した。	大島区	地域政策課	138～141
	31 「牧っていいね」を広げる情報発信事業	特定非営利活動法人 牧振興会	258	180	78	区内でのつながりと関係人口の増加につなげるため、特定非営利活動法人牧振興会のホームページ（ブログ）やインスタグラムを活用し、年間を通して牧区における暮らしと住民の様子を発信した。	牧区	地域政策課	138～141
	32 かきざき湖八重桜広場の八重桜の植樹事業	ガンバ米山	290	232	58	地域住民の交流促進と地域のにぎわいを創出するため、4月29日に観桜会を開催し、地域住民の交流を深めることができた。また、6月から11月にかけて、八重桜の手入れ、草刈り、電気柵の設置・撤去を行ったほか、11月2日には八重桜を植樹した。	柿崎区	地域政策課	138～141
	33 黒川黒岩ふれあい事業	16ピース	2,662	1,725	937	地域住民と出身者との交流促進、相互が一体となり地域を支え守ろうとする地域コミュニティの醸成を図るため、4月から11月にかけて、旧黒川小学校跡地の草刈りや花植えによるフラワーロードの整備、8月14日に黒川黒岩ふれあいまつりを実施した。	柿崎区	地域政策課	138～141
	34 柿崎時代まつり「下黒川地区夏まつり」事業	柿崎時代まつり「下黒川地区夏まつり」実行委員会	1,494	1,337	157	地域の一体感や郷土愛を醸成するため、5月1日、5月15日に郷土の伝統芸能「十三夜」の伝承に向けた講習会を開催したほか、8月23日に下黒川地区夏まつり、10月8日にふるさとウォーキング、3月7日に河川美化活動に取り組み、若者や子どもたちへ伝統文化を継承するとともに、ふるさとを愛する心の育成に寄与した。	柿崎区	地域政策課	138～141
	35 都市部大学生の農業体験交流事業	柿崎区認定農業者協議会	480	336	144	都市部の学生等の若者と農業者等の地域間交流を図るとともに、関係人口や交流人口の増加及び移住・定住・就農へつなげるため、農業に関心のある学生等の農業体験として、東京農工大学1回、国際基督教大学4回の受入を行った。	柿崎区	地域政策課	138～141
	36 九戸浜のお宝発掘事業 海からの贈り物：流木アート編	九戸浜町内会	176	158	18	地域や環境への意識を高めるために、海岸清掃で集めた流木を用いて制作したアート作品を11月1日と2日に行われた大潟作品展で展示した。	大潟区	地域政策課	138～141
	37 日本の伝統文化きものを通して地域文化を盛り上げたり、国際交流を深めたりする事業	くびききものくらぶ	—	—	—	事業目的の達成が困難となり、事業中止	頸城区	地域政策課	—

常任委員 会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	38 頸城区の情報を定期的に発信するポータルサイト事業	ジモ活Base	1,345	941	404	頸城区の情報発信を通じて区内の活動団体の活性化や連携強化を図るため、活動団体などへの取材をもとに、頸城区内で行われるイベントや事業を掲載するホームページを製作するとともに、SNSを活用した情報発信の取組を強化するため、インスタグラム教室を開催した。	頸城区	地域政策課	138～141
	39 くびき冬季フェスティバル	くびきお祭りネットワーク	684	465	219	イベントの少ない冬季に子どもたちが楽しみながら雪に親しみ、頸城区の伝統や歴史を継承できるよう、2月8日に頸城の歴史を題材としたジャンボカルタや雪の迷路などのイベントを行った。	頸城区	地域政策課	138～141
	40 ふるさとの宝を保存し、後世に歴史的意義を伝える事業	特定非営利活動法人 くびきのお宝のこす会、市（提案団体：特定非営利活動法人 くびきのお宝のこす会）	2,870	2,692	178	地域の大切な宝であるくびき野レールパークを活用し、地域への愛着の醸成や交流人口の拡大を図るため、車両の乗車体験や紙芝居による公演などの一般公開事業を年4回実施するとともに、安定した走行ができるよう老朽化が著しい車両エンジンの修繕を行った。	頸城区	地域政策課	138～141
	41 地域の魅力再発見事業 ～縄文から現代を考えるパート2～	いのち応援団	149	104	45	古（縄文）の人々の生き方を通じて、現代の私たちの営みやいのちを考えるため、11月24日に関連するテーマの映画上映会とトークイベント、12月7日に地域の遺跡を巡るフィールドワーク、いのちや性を取り上げた講演会を開催した。	吉川区	地域政策課	138～141
	42 第7回二本木駅鉄道まつり事業	特定非営利活動法人 中郷区まちづくり振興会	2,348	2,113	235	国の登録有形文化財「二本木駅」を地域の宝として発信し、鉄道ファンや地域内外からの集客により、交流人口の増加を図るため、11月1日に「第7回二本木駅鉄道まつり」を開催した。	中郷区	地域政策課	138～141
	43 YAWAYAWA MARKET itaku r a 事業	YAWAYAWA MARKET 実行委員会	1,808	1,247	561	人的交流を促進することにより、板倉区の魅力を全国に発信するため、「また来たくなる、板倉」をコンセプトにした「YAWAYAWA MARKET」を、5月31日、11月29日にあしんの里記念館で開催した。	板倉区	地域政策課	138～141
	44 坊ヶ池交流施設運営管理事業	一般社団法人 棚池農業振興会	3,863	3,464	399	繰り返し清里を訪れる交流人口の拡大を図るため、ビュー京ヶ岳で4月下旬から11月にかけての土日祝日にカフェを営業したほか、11月9日に恒例の新そばまつりを開催した。	清里区	地域政策課	138～141
	45 地域交流促進事業	きよさと観光交流協会	507	385	122	清里区特有の自然や文化などの地域資源を地域内外の人に知ってもらい、何度も訪ねていただけるよう、清里区の地域資源や歴史文化資源を活用したふるさと史跡探訪ツアーを2回、ブナの森ハイキングを1回開催したほか、清里区の自然景観、歴史・文化財などを掲載した「自然・歴史観光マップ」を作成した。	清里区	地域政策課	138～141
	46 若者・子育て世代の繋がり強化事業	新名立青年会	663	464	199	若者や子育て世代の居場所づくりによる地域コミュニティの醸成や団結力を高めること、地域への愛着を育むことを目的に、地元産ブナ材を使用した体験やおさがり交換会、立地をいかした夕日交流会などのワークショップやイベントを10回開催したほか、冬の不動キャンドルロードとの連携や草刈りなどの建物整備を実施した。	名立区	地域政策課	138～141
	47 諏訪への移住促進活動事業	移住促進諏訪の会	78	70	8	区内の定住人口の増加による地域の活性化及び団結力の強化を図るため、10月20日に中郷区のとまろ学校を事例を視察研修、3月14日に移住促進フォーラムを開催した。また、チラシを2回全戸配布して活動の内容及び必要性を周知したほか、SNSを通じて地域の魅力を適宜発信した。	諏訪区	多文化共生課	140～143
計 48件			44,411	36,194	8,217				
総計 171件			146,397	114,082	32,315				

令和7年度 エネルギー、食料品等の価格高騰に伴う生活者・事業者等への支援の取組

■目的

エネルギー、食料品等の価格高騰を踏まえ、家計への影響が大きい生活者や事業者等の負担軽減を図るため、必要な対策を実施

【一般会計】

■令和7年度の取組に係る総執行額

2,632,430 千円

(単位：千円)

項目	予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額
			国県支出金		一般財源	
			地方創生臨時交付金	左記以外		
(1) 生活者への支援	3, 121, 505	2, 255, 930	1, 567, 743	508, 758	179, 429	790, 474
(2) 事業者等への支援	1, 275, 869	455, 370	403, 880	0	51, 490	777, 393
合計（再掲事業を除く）	3, 636, 802	2, 632, 430	1, 942, 929	508, 758	180, 743	887, 225

※予算現額は、当初予算、補正予算及び流用・充用額の合計

※執行額及び財源内訳は、表示単位未満で調整しているため、総数とその内訳が一致しない場合がある。

(1) 生活者への支援

2,255,930 千円

(単位：千円)

項目		予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額	所管課	予算区分	
				国県支出金		一般財源				
				地方創生臨時交付金	左記以外					
所得の少ない世帯への支援										
1	生活困窮者自立支援事業	住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を支給するとともに、18歳以下の児童を扶養している場合は、児童1人当たり2万円を合わせて支給する。	12,557	11,218	11,218	0	0	生活援護課	R6→R7繰越	
		5,304	5,033	5,018	0	15	0		R7当初	
2	生活困窮者自立支援事業	住民税非課税世帯に対し、灯油購入費助成金として1世帯当たり5千円を支給する。	5,819	2,539	1,259	1,267	13	生活援護課	R6→R7繰越	
		86,991	75,698	39,012	36,685	1	11,279		R8 1月補正	
3	生活困窮者自立支援事業	住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯当たり1万5千円を支給するとともに、18歳以下の児童を扶養している場合は、児童1人当たり1万円を合わせて支給する。	7,190	1,084	1,032	0	52	生活援護課	R6→R7繰越	
4	生活困窮者自立支援事業	住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を支給するとともに、均等割のみ課税世帯に対して1世帯当たり1万5千円を支給する。	543,519	471,007	471,007	0	0	72,508	生活援護課	R8 1月補正
子育て世帯への支援										
5	高校生等通学定期券購入費補助金	高校生等の通学に係る経済的負担の軽減や、市内公共交通の利用促進と活性化を図るため、通学定期券の購入に対して助成する。	4,423	1,701	1,273	0	428	0	交通政策課	R7当初
6	住宅リフォーム促進事業補助金（子育て・若者夫婦世帯支援枠）	子育てしやすい居住環境の実現に向け、子育て及び家事負担軽減のためのリフォーム工事を支援する。	10,000	9,773	9,214	0	559	0	建築住宅課	R7当初
			10,000	9,771	9,771	0	0	0		R7 6月補正
			20,000	0	0	0	0	20,000		R8 1月補正

(単位：千円)

項目			予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額	所管課	予算区分
					国県支出金		一般財源			
					地方創生臨時交付金	左記以外				
7	公立保育所運営費	公立保育園における賄材料費について、保護者の経済的負担を軽減するため、物価高騰に伴う増額分を市が負担する。	19,952	19,952	10,598	0	9,354	0	幼児保育課	R7当初
8	私立保育所等運営費	私立保育園等の給食費について、保護者の経済的負担を軽減するため、物価高騰に伴う増額分を給付する。	21,165	19,721	18,593	0	1,128	0	幼児保育課	R7当初
9	学校給食費	市立の小・中学校、幼稚園の賄材料費について、保護者の経済的負担を軽減するため、物価高騰に伴う増額分を市が負担する。	183,463	183,463	144,998	0	38,465	0	教育総務課	R7当初
			79,238	79,238	0	0	79,238	0		R7 12月補正
10	子育て世帯に対する生活支援給付金	エネルギー、食料品等の価格高騰の影響により、特に家計への影響が大きい児童扶養手当を受給する世帯及び所得の少ない子育て世帯に対し、18歳までの児童1人当たり2万5千円を支給する。	92,707	68,136	68,136	0	0	0	こども家庭センター	R7 6月補正
11	物価高対応子育て応援手当（国制度分）	0歳から高校生年代までの児童を養育する父母等へ、児童1人当たり2万円を支給する	501,992	470,806	0	470,806	0	0	こども家庭センター	R8 1月補正
12	物価高対応子育て応援手当（独自上乗せ分）	物価高対応子育て応援手当（国制度分）の支給対象者に対し、市独自で児童1人当たり5千円を追加支給する。	123,000	116,955	116,955	0	0	6,045	こども家庭センター	R8 1月補正
消費の下支えの支援										
13	プレミアム付商品券発行支援事業補助金	物価高騰の影響を受けている生活者の消費を下支えし、あわせて、商工団体等による消費喚起や売上増加を後押しするため、商工団体等が実施するプレミアム付商品券発行事業に要する経費を支援する。	29,462	28,981	28,378	0	603	0	産業政策課	R6→R7繰越
			50,000	0	0	0	0	50,000		R8 1月補正
14	住宅リフォーム促進事業補助金（一般枠）	市内経済の活性化と市民の居住環境の向上を図るため、住宅リフォーム工事を支援する。	50,000	49,572	0	0	49,572	0	建築住宅課	R7当初
			53,086	60	59	0	1	53,026		R8 1月補正
15	生活応援クーポン券発行事業	食料品等の物価高騰による家計負担の軽減と消費の下支えを図りつつ、市内経済の活性化につなげるため、市内の店舗等で利用できるクーポン券を市民1人当たり3千円分発行する。	578,024	257	257	0	0	577,616	産業政策課	R8 1月補正
その他										
16	定額減税補足給付金事業	令和6年度に実施した国の定額減税措置に伴う補足給付金について、令和6年分所得税額等の確定に伴い給付額に不足が生じた納税義務者に対して追加給付を行う。	633,613	630,965	630,965	0	0	0	総務課	R7 6月補正 8月専決 10月専決
合計			3,121,505	2,255,930	1,567,743	508,758	179,429	790,474		

(2) 事業者等への支援

455,370 千円

(単位: 千円)

項目			予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額	所管課	予算区分
					国庫支出金		一般財源			
					地方創生臨時交付金	左記以外				
事業者等への支援										
1	省エネ設備導入事業補助金	エネルギーの価格高騰の影響を受けている市内中小企業者や農林水産事業者などに対し、LED照明や空調設備の入替えを支援する。	61,957	60,497	59,268	0	1,229	0	産業政策課	R6→R7繰越
2	収益力向上・賃上げ環境整備補助金	収益力向上を図り賃上げ環境の整備に取り組む市内中小企業者や農林水産事業者などを支援する。	9,581	5,480	5,397	0	83	0	産業政策課	R6→R7繰越
3	プレミアム付商品券発行支援事業補助金【再掲】	物価高騰の影響を受けている生活者の消費を下支えし、あわせて、商工団体等による消費喚起や売上増加を後押しするため、商工団体等が実施するプレミアム付商品券発行事業に要する経費を支援する。	29,462	28,981	28,378	0	603	0	産業政策課	R6→R7繰越
		50,000	0	0	0	0	50,000	R8 1月補正		
4	住宅リフォーム促進事業補助金（一般枠）【再掲】	市内経済の活性化と市民の居住環境の向上を図るため、住宅リフォーム工事を支援する。	50,000	49,572	0	0	49,572	0	建築住宅課	R7当初
		53,086	60	59	0	1	53,026	R8 1月補正		
5	介護保険施設・障害者施設等物価高騰対策支援事業	介護保険施設及び障害者施設等を運営する法人を対象に、光熱水費、燃料費及び食事の提供に要する費用の一部を支援する。	331,409	296,498	296,497	0	1	0	高齢者支援課	R8 1月補正
6	生活応援クーポン券発行事業【再掲】	食料品等の物価高騰による家計負担の軽減と消費の下支えを図りつつ、市内経済の活性化につなげるため、市内の店舗等で利用できるクーポン券を市民1人当たり3千円分発行する。	578,024	257	257	0	0	577,616	産業政策課	R8 1月補正
7	酒米価格高騰対策支援補助金	市内酒造事業者に対し、日本酒製造に使用する新潟県産の酒米購入費用の一部を支援する。	3,600	1,956	1,956	0	0	1,644	産業政策課	R8 1月補正
8	加工用米価格高騰対策支援補助金	市内製造事業者に対し、味噌、醤油等の製造に使用する新潟県産の加工用米購入費用のうち、価格上昇分の一部を支援する。	12,200	1,890	1,890	0	0	10,310	産業政策課	R8 1月補正
9	省エネ設備導入事業補助金	エネルギーの価格高騰の影響を受けている市内中小企業者等に対し、省エネ設備への入替えに要する経費を支援する。	54,797	0	0	0	0	54,797	産業政策課	R8 1月補正
10	収益力・生産性向上推進補助	収益力や生産性の向上を図り、持続可能な経営基盤の維持・強化に取り組む市内中小企業者等を支援する。	30,000	0	0	0	0	30,000	産業政策課	R8 1月補正
11	粗飼料価格高騰対策支援金	乳用牛又は肉用牛を飼養している市内の畜産農家を対象に、粗飼料に係る費用のうち、価格上昇分を支援する。	9,997	8,423	8,422	0	1	0	農業振興課	R8 1月補正
12	農業用施設等維持管理費補助金	電気料金の高騰の影響を受けている土地改良区に対し、農業水利施設の電気料金のうち、価格上昇分の一部を支援する。	1,756	1,756	1,756	0	0	0	農林水産整備課	R8 1月補正
合計			1,275,869	455,370	403,880	0	51,490	777,393		
総計（再掲事業を除く）			3,636,802	2,632,430	1,942,929	508,758	180,743	887,225		



昨冬の大雪を踏まえ 今シーズンに備えた対策について



1

命綱固定アンカー等設置費補助の拡充

(拡充:6月補正)

要援護世帯	一般世帯
補助率 2/3 → 9/10 上限額 10万円 → 27万円	補助率 1/2 → 現行どおり 上限額 10万円 → 15万円

2

上越妙高駅周辺地区商業地域時間貸駐車場 消融雪設備設置等補助金の創設

(新規:6月補正)

上越妙高駅周辺地区商業地域内で時間貸駐車場を運営する事業者に対し、消融雪設備の新設及び更新等を支援し、降雪期における駅利用者の駐車場の確保を図る。



3

要援護世帯除雪費助成事業 の助成額上限引上げ 【拡充:9月補正】

町内会等へのアンケート結果を踏まえ、助成額上限を引上げ、所得の少ない要援護世帯の費用負担を軽減

現行 72,100円	▶	拡充後 126,000円 (現行比+53,900円)
---------------	---	----------------------------------

除雪における労務単価の引上げ(目安)

人件費や燃料費高騰を受け、業者が実施する除雪に係る経費の実態に配慮した労務単価

内容(労務単価/人・時間・税込)	
個人に依頼	業者に依頼
4,000円 (現行どおり)	5,000円 (現行比+1,000円)

4

災害救助法適用前における 重機貸出事業 【新規:9月補正】

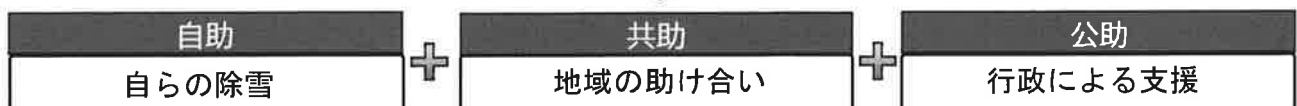
町内会等が重機オペレーターを確保したうえで、市から重機を貸し出すことで、共助により行われる除排雪を支援

貸出期間

おおむね災害救助法適用基準の8割を超える日から最大10日間

貸出重機

バックホウ0.25m³以上
ブルドーザー3t級以上



自助・共助・公助の連携を強化し、持続可能な除雪支援体制へ



